

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県 神戸市

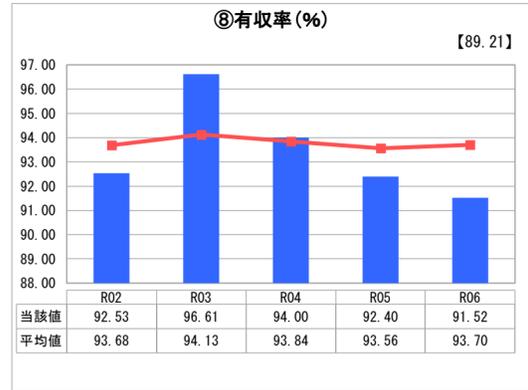
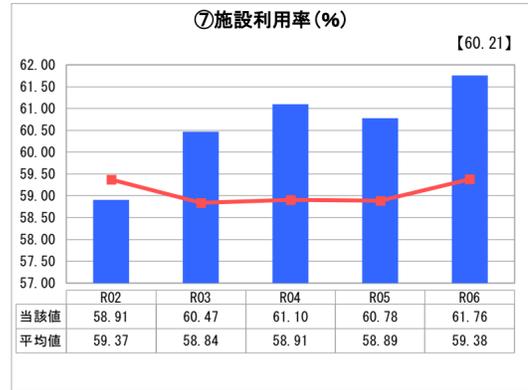
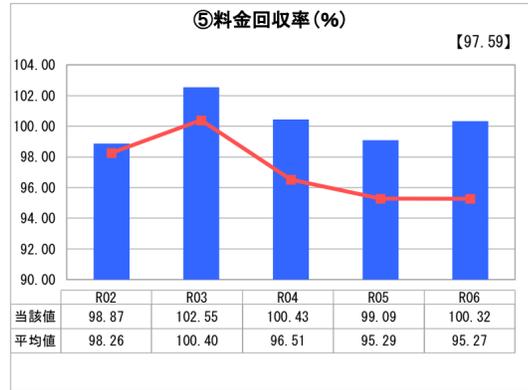
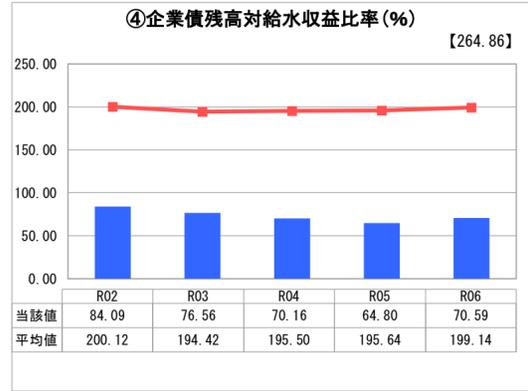
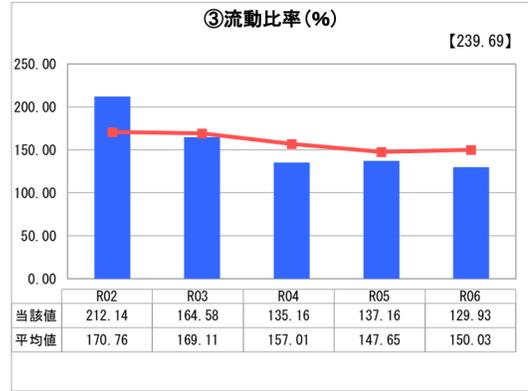
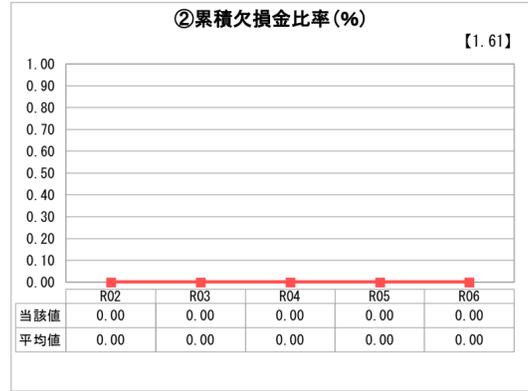
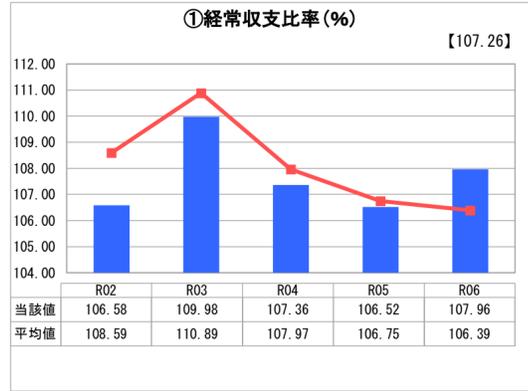
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	政令市等	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	87.74	99.85	2,926	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,493,543	556.93	2,681.74
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,483,847	288.05	5,151.35

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

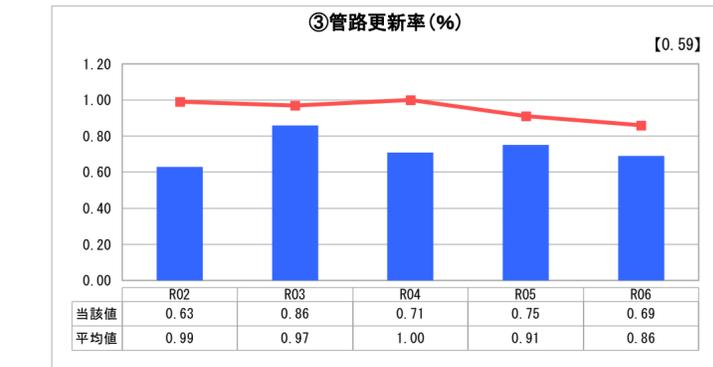
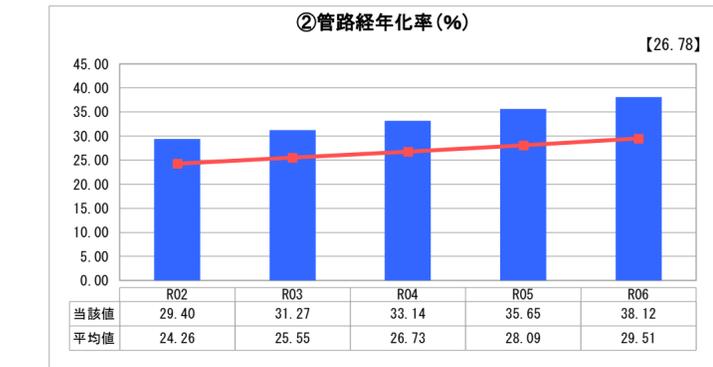
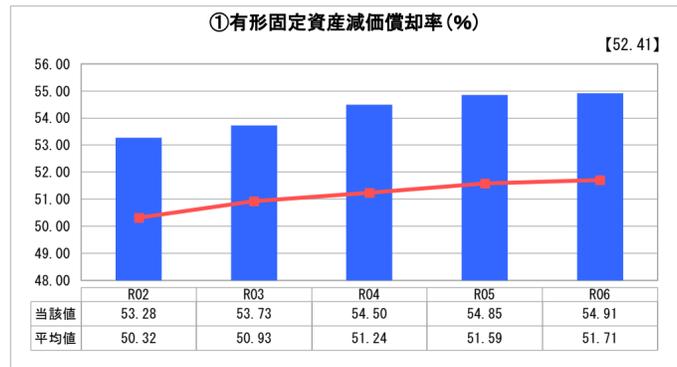
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率**  
物価高騰等により費用は前年に比べ増加したものの、料金改定により給水収益も増加したことから前年度と比べ上昇しており、健全経営の水準とされる100%を上回っている。
- ② 累積欠損金比率**  
発生していない
- ③ 流動比率**  
流動比率は100%を超えているため、現状では短期的な支払能力に問題はないが、減少傾向にあるため改善を図る必要がある。
- ④ 企業債残高対給水収益比率**  
平成24年度以来12年ぶりの企業債の借入れをしたことにより値が増加している。
- ⑤ 料金回収率**  
平成9年度以来27年ぶりの料金改定を10月に行ったことで、昨年度と比べ上昇し、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる100%を上回っている。
- ⑥ 給水原価**  
給水原価は類似団体との比較では、低い水準となっているが、物価高騰の影響が続いているほか更新投資の増加による減価償却費の増加が見込まれることから、引き続き経営改革に努める必要がある。
- ⑦ 施設利用率**  
類似団体と比べ高い水準にはあるが、引き続き水需要の減少を踏まえ、施設のダウンサイジングを検討していく。
- ⑧ 有収率**  
昨年度に比べ低下しており、漏水調査の手法について、新たな漏水調査技術に関する情報を積極的に収集するなど効率的な調査実施に取り組んでいく。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率、② 管路経年化率**  
類似団体と比較して高い水準である。これは施設の延命化・長寿命化を図り、投資の抑制を行ってきたためである。
- ③ 管路更新率**  
工事規模が大きく更新率が上がりにくい大口径管路や配水池根本の管路などの更新に対して重点的に投資を行ってきているため、低い水準となっている。高度経済成長期に布設し経年劣化した大量の配水管の更新・耐震化を進めるため、ベースアップを進めていく。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

人口減少等に伴う給水収益の減少、物価高騰による維持管理費や工事費の増加、施設の老朽化による更新需要の増加等により、経営状況は非常に厳しくなっている。そのため、料金改定により更新財源を確保し、計画的に施設を更新することで、引き続き、安全・安心な水を安定的に供給できるよう取り組む。

# 経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

兵庫県 神戸市

【事業概要】

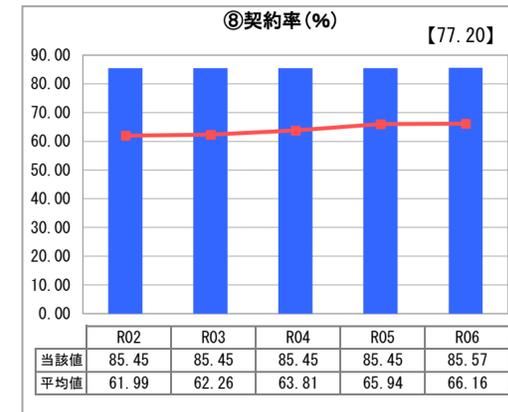
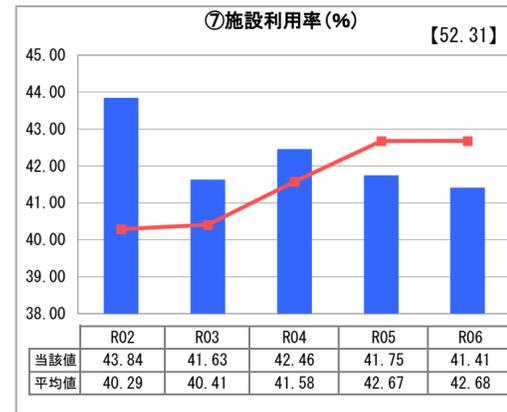
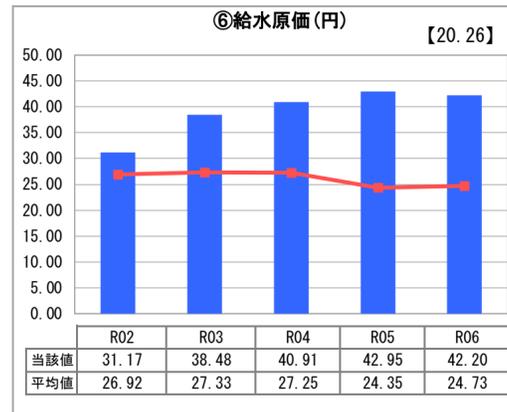
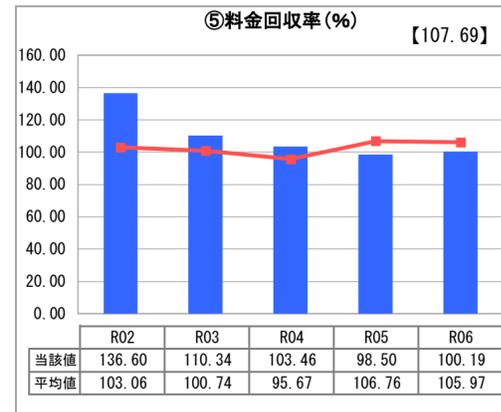
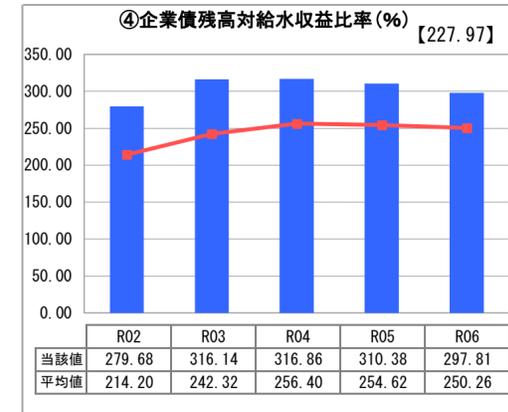
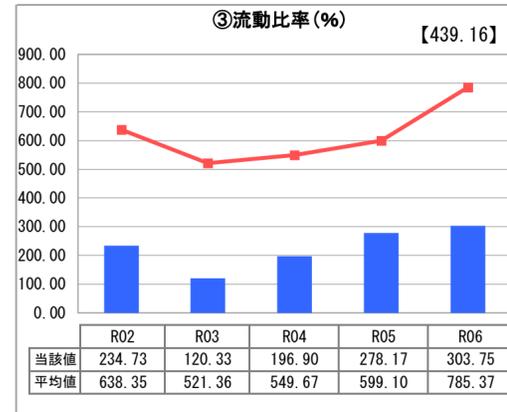
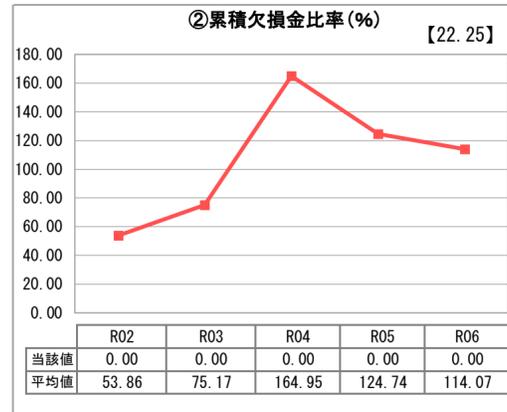
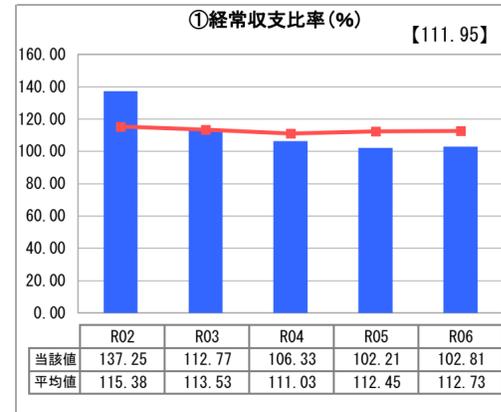
業務名	業種名	現在配水能力(合計) (m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	106,000	中規模	1	43,897
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	71.9	74	90,708	自治体職員	

## グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)

【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



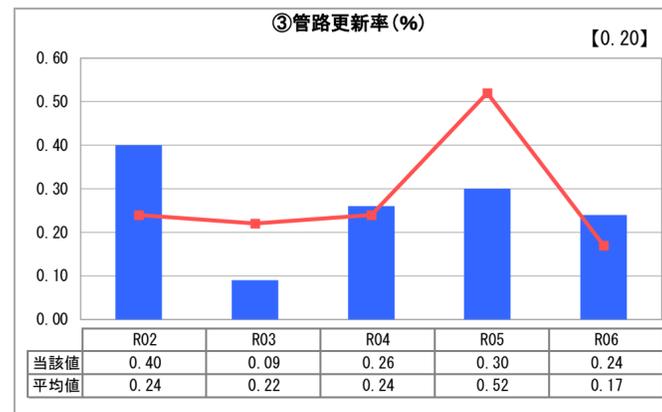
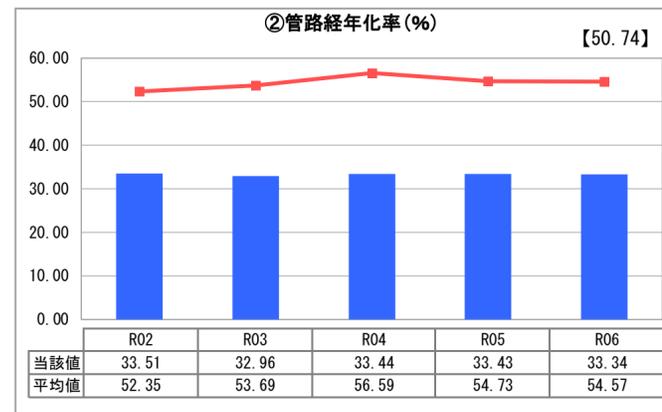
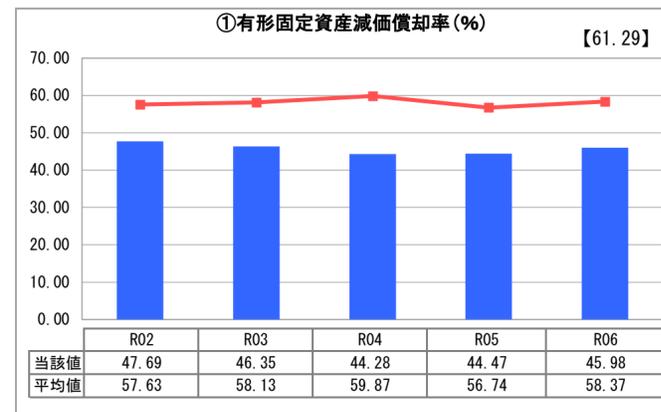
## 1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率  
前年度並みを維持しており、健全経営の水準とされる100%は上回っている。
- 累積欠損金比率  
発生していない
- 流動比率  
100%を超えているため、現状では短期的な支払能力に問題はない
- 企業債残高対給水収益比率  
前年度に比べ減少しているものの、老朽化した施設の計画的な更新に対応するため企業債を発行しており今後上昇傾向となる見込み。
- 料金回収率  
工事に伴う固定資産除却費など、一時的な費用が減少したことにより、昨年に比べ上昇しているものの、今後も物価高騰による費用の増加が見込まれるため、引き続き経営改善に努めていく必要がある。
- 給水原価  
給水原価は減価償却費等の費用の増加により値が上昇している。
- 施設利用率  
ここ3年間は横這いである。
- 契約率  
安定して高水準を維持できている。

## 2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率、②管路経年化率  
計画的な更新に努めてきたことから法定耐用年数を上回る資産が少ないため、類似団体と比較し低水準である。
- 管路更新率  
今後、昭和30～40年代に整備した管路など、大量の工業用水道施設が更新時期を迎えることから、現在の経営状況を維持しつつ、引き続き計画的な施設更新を行っていく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

需要者による水利用の合理化や老朽化施設の更新を見据えつつ、引き続き、持続的・効率的な安定給水と経営基盤の強化に努めていく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

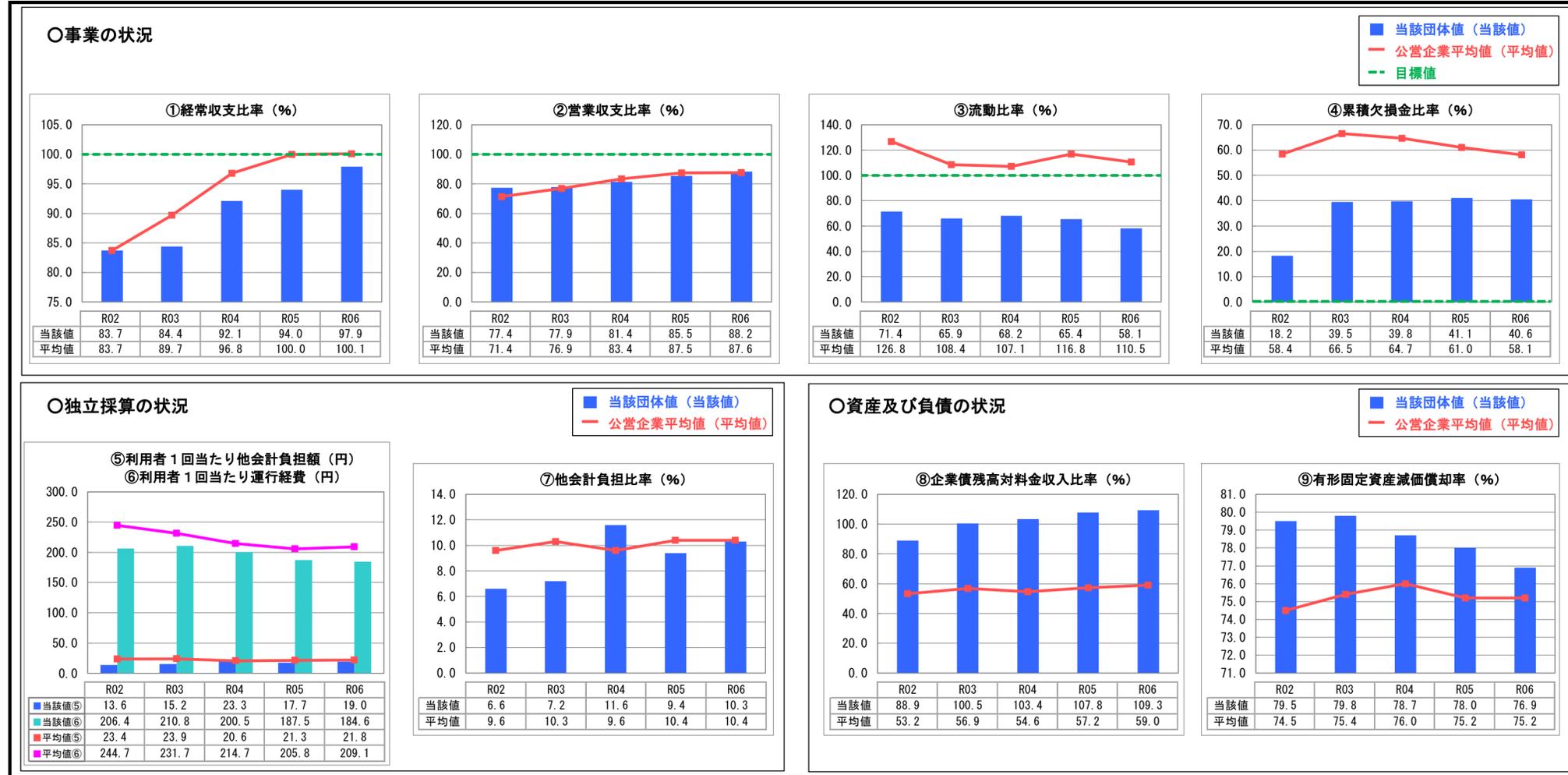
兵庫県 神戸市

業務名	業種名	事業名	管理者の情報
法適用	交通事業	自動車運送事業	自治体職員
資金不足比率（％）	営業路線（km）	年間走行キロ（千km）	在籍車両数（両）
19.6	373.2	16,036	483
職員数（人）	管理の委託割合（％）	民間事業者の有無	地域公共交通計画策定の有無
372	43.9	有	有

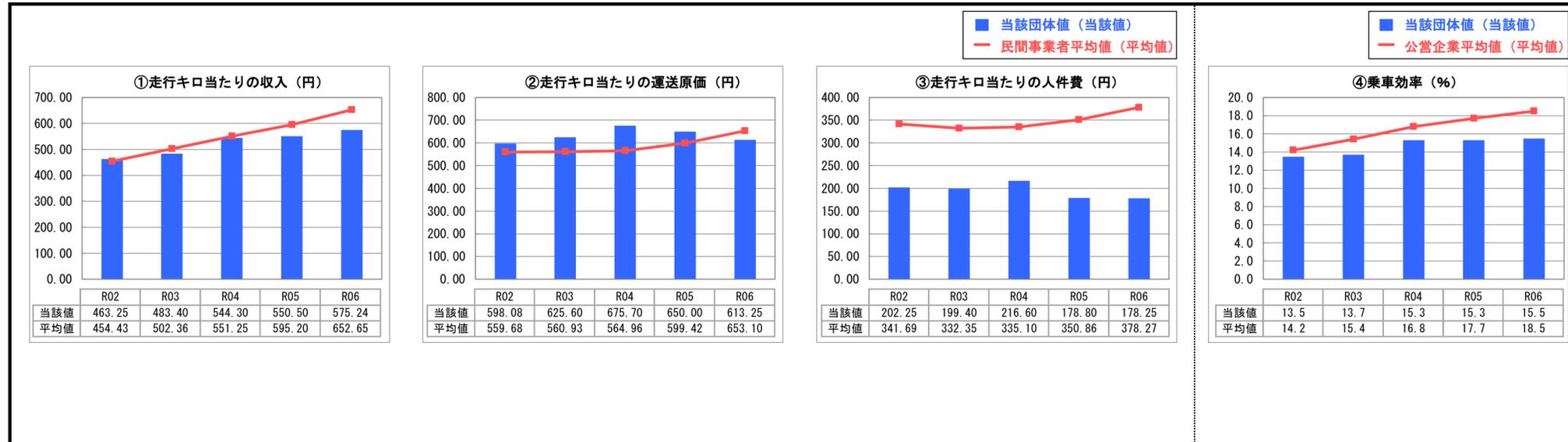
※民間事業者の有無とは、行政区域内で民間バス事業者が運行しているかどうかを指す。

	R02	R03	R04	R05	R06
年間輸送人員（千人）	50,695	51,633	54,624	56,404	57,134
他会計負担額（千円）	690,585	785,940	1,271,389	998,629	1,086,934

## 1. 経営の健全性



## 2. 経営の効率性



※民間事業者平均値は当該団体が所属する標準原価ブロックの民間平均値

## 分析欄

### 1. 経営の健全性について

令和6年度は、10月に32年ぶりとなる運賃改定を実施し、前年度比較では乗車料金収入および乗車人員が増加したものの、引き続き物価高騰など諸経費の増加が続いている状況を踏まえて、経営の健全性については下記のとおりと考えている。

【事業の状況】  
 ①経常収支比率、②営業収支比率、④累積欠損比率についてはいずれも前年度から改善したが、いずれも目標値を下回って着地した。これは、上記のとおり、運賃改定により収入が増加した一方で、依然として原油価格や物価上昇の影響による各種経費の増加が続いていることが要因である。  
 ③流動比率についても目標値を下回っており、短期的な支払能力が低いと考えている。  
 【独立採算の状況】  
 ⑤利用者1回当たり他会計負担額⑥利用者1回当たり運行経費ともに、ほぼ横ばいであるが、需要に合わせた路線見直しを進めており、利用者1回当たり運行経費は減少した。  
 ⑦他会計負担率は近年上昇傾向にあり、公営企業平均とほぼ同じ状況になった。経費増加への依存が高まっている点について、引き続き独立採算の観点で事業の持続可能性に課題があると考えている。  
 【資産及び負債の状況】  
 ⑧企業債残高対料金収入比率も上昇傾向にあり、特別減収対策企業債の償還が進むと比率は高い状況が続くと考えている。

今後も原油価格や物価高騰の状況によっては、収入回復が続いても厳しい財務状況が継続することが想定される。このため、車両更新等に伴う建設改良債の償還負担を踏まえつつ、徹底した経費節減を進めるとともに、経営改善に取り組む必要がある。

### 2. 経営の効率性について

①走行キロ当たりの収入は、運賃改定の影響により前年度比24.7円増加した。  
 ②走行キロ当たりの運送原価は、原油価格や物価の高騰による各種経費の増加しているものの、路線・ダイヤの見直しの実施による効率化及び管理委託契約費が据え置かれている（主な契約がR4～R8年度）ことから、前年度比36.7円減少し、民間事業者平均を下回る数値となった。③走行キロ当たりの人件費については、営業所管理委託料に含まれる人件費を経費に計上していることから、民間事業者平均値より低くなっている。  
 ④乗車効率は前年度からわずかに上昇したものの、公営企業平均を下回り、年々差が開いていることから、引き続き効率的な運行に向けた取組が必要である。

### 全体総括

令和6年度は、10月に実施した運賃改定により乗車料金収入および乗車人員は増加し、経常収支比率や営業収支比率などの主要指標は改善した。しかし、原油価格や物価上昇による諸経費の増加が引き続き経営を圧迫しており、流動比率の低下や他会計負担額の増加、企業債残高対料金収入比率の上昇など、財務面では依然として厳しい状況が続いている。  
 一方、効率性の面では、需要データを基にした路線の見直しを続けており、走行キロ当たりの運送原価の減少など一定の成果が見られた。しかし、乗車効率が僅少な増加にとどまったことや経費構造に占める固定費の多さ、さらには他会計負担の増加により、依然として改善余地は大きい状況である。  
 総じて、令和6年度の経営状況は、運賃改定や路線見直しにより前年度より一定の改善が見られたものの、経費増加に伴う収支構造の脆弱性や財務負担の大きさといった課題は依然として残っている。今後は、さらなる経費節減の徹底、債務返済計画の着実な実施、需要喚起策の強化、タイヤの最適化などによる運行効率化を進め、経営の健全化と持続可能性の確保に向けて積極的に取り組む必要がある。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

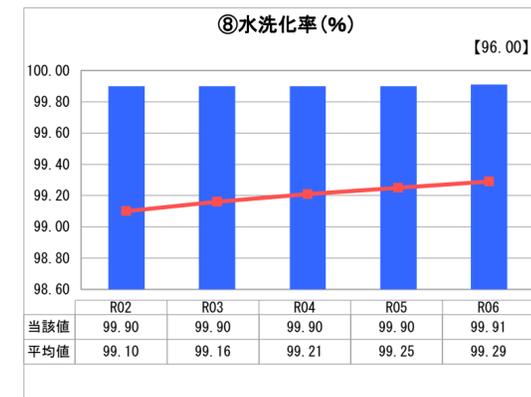
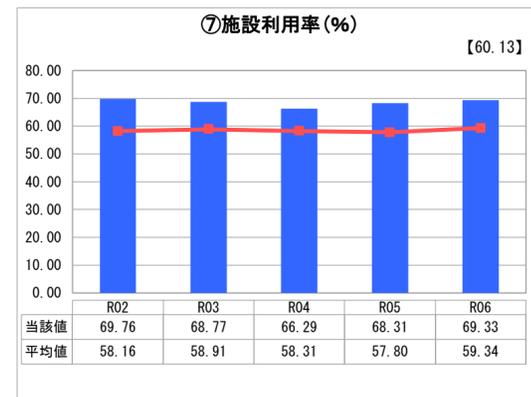
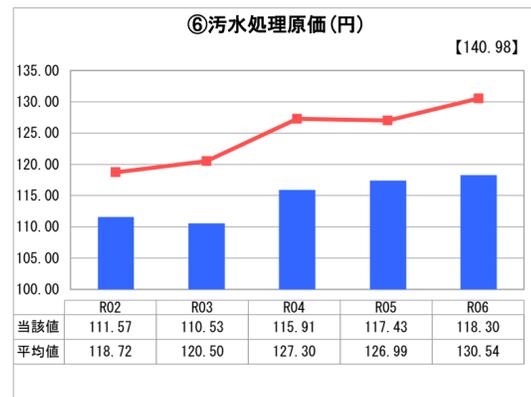
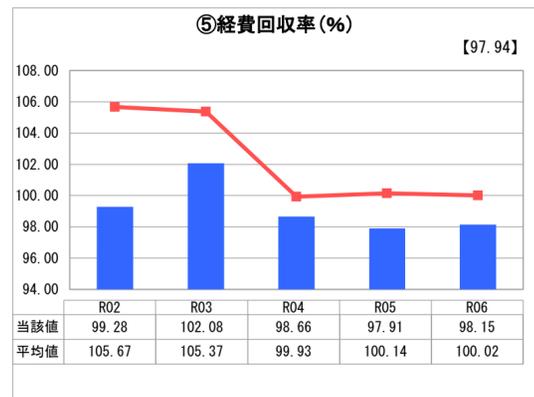
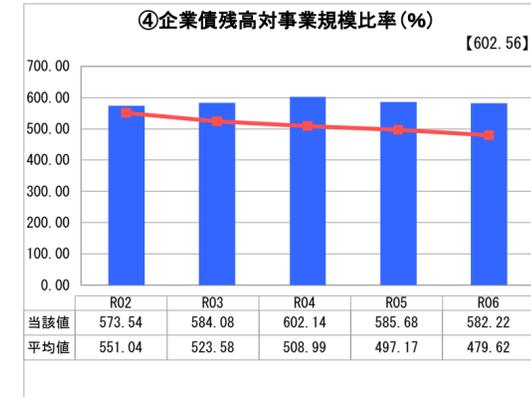
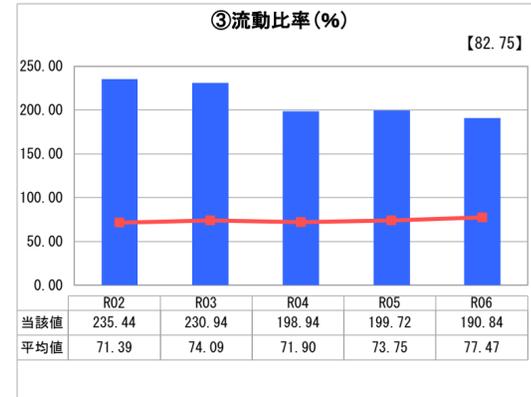
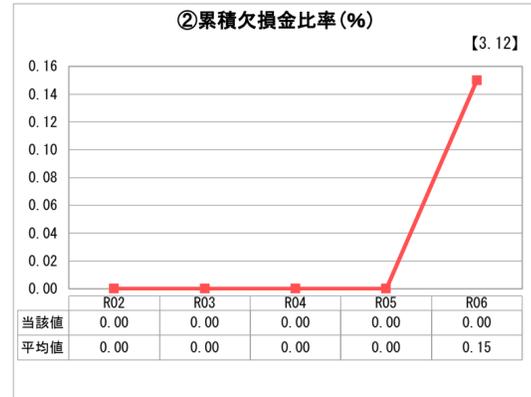
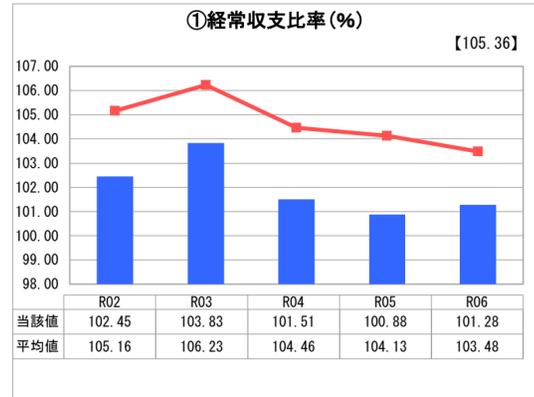
兵庫県 神戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	政令市等	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	74.57	98.73	92.87	1,760

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,493,543	556.93	2,681.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,468,827	173.09	8,485.91

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

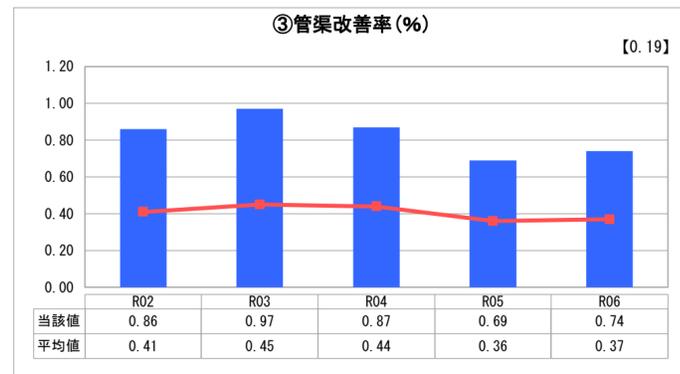
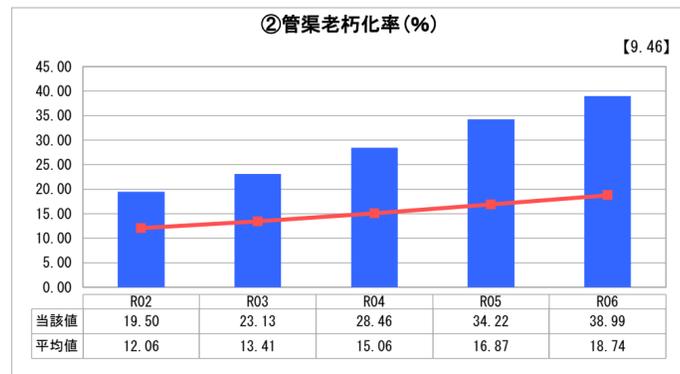
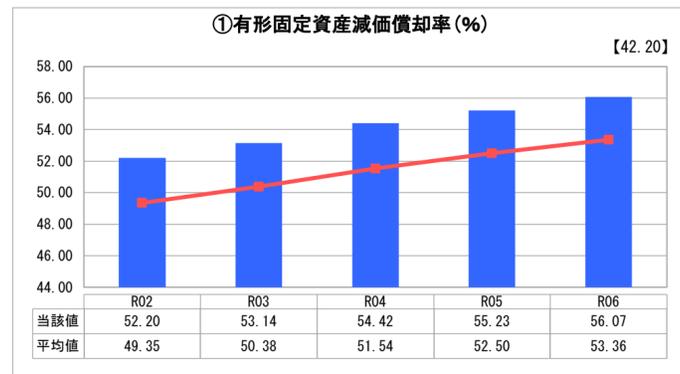
### 1. 経営の健全性・効率性について

①は、類似団体平均をやや下回っているが、100%は超えている。物価高騰等による影響で処理経費が増加していることから、引き続き経営の効率化を進めていく。  
 ②は、平成26年度の会計制度の見直し以降、黒字基調となったため、累積欠損金がなくなっている。  
 ③は現預金を十分に保有しており、類似団体平均よりも高く、十分な支払能力がある状態である。  
 ④は、これまで企業債残高の削減に取り組んできたが、平成29年度以降は類似団体平均を上回っている。  
 ⑤は、使用料改定等により令和3年度には100%を上回り、回収すべき経費を使用料で十分に賄えている状態になった。しかし、物価高騰等による影響で処理経費が増えたことで経費回収率は再び100%を割り込んでおり、引き続き状況を注視していく必要がある。  
 ⑥は、これまでの維持管理の効率化により、類似団体平均を下回っている。今後も維持管理の効率化を進めていく。  
 ⑦は類似団体平均よりも高く、概ね適切な施設規模と考えられる。  
 ⑧水洗化を助成する制度を令和元年度まで設けていたこと等により、概ね100%に近い数値となっている。

### 2. 老朽化の状況について

①、②、③については、類似団体平均を上回っている。これは、昭和40年代後半に集中的に整備した管きよ、処理場、ポンプ場の老朽化が進んでおり、法定耐用年数を超える施設が増加していることが原因となっている。そのため、事業費の平準化を図りながら、計画的に改築更新を実施していく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」では、①・⑤が類似団体と比較すると低い状況にある。「2. 老朽化の状況」では、類似団体と比較すると老朽化が進んでいる状況にある。今後、人口減少による有収水量の減少等により、下水道使用料の減収が見込まれる一方で、老朽化した施設の改築更新費用が増加する見込みであるため、令和2年4月に使用料改定を行った。しかし、物価高騰等による影響で処理経費が増えていることから、今後の状況を注視していく必要がある。引き続き維持管理の効率化等を進めると同時に、さらなる改築更新の平準化を図ることで、健全かつ効率的な経営を実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

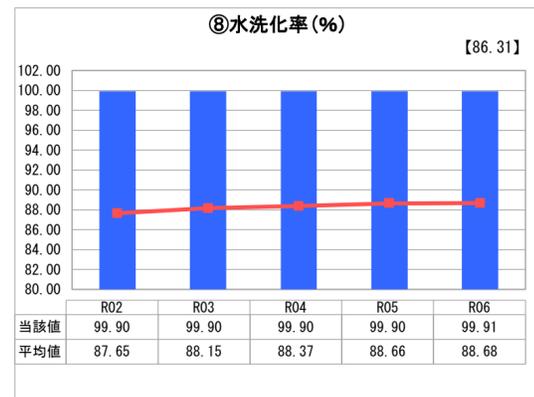
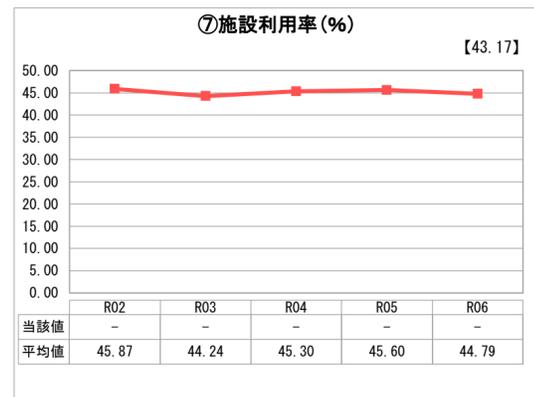
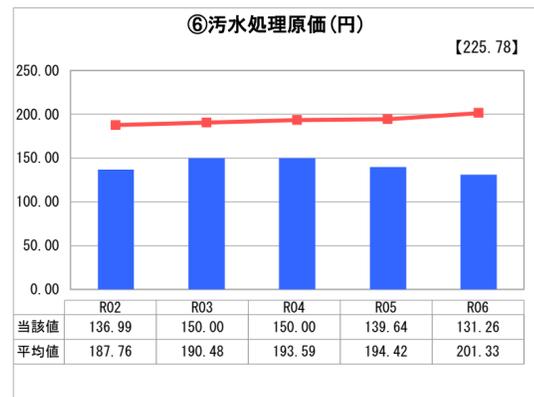
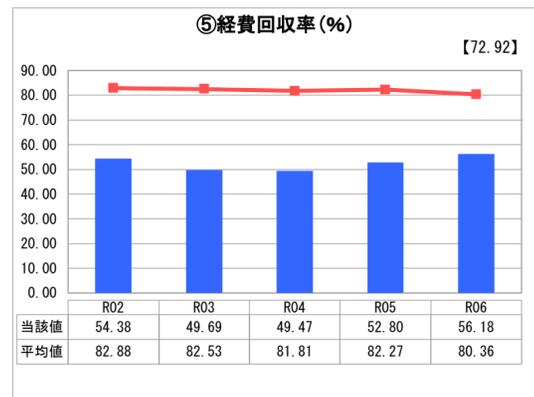
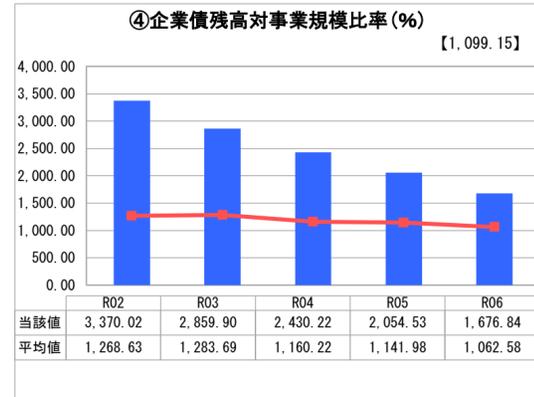
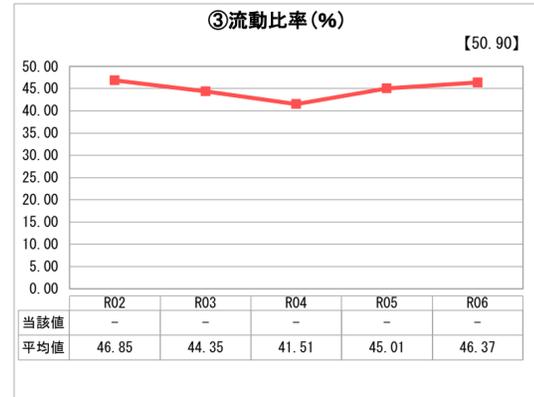
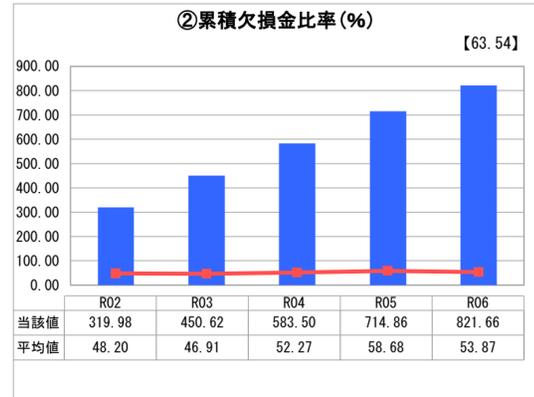
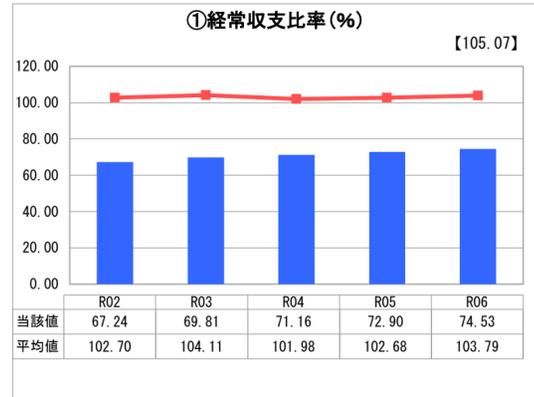
兵庫県 神戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	62.87	1.02	100.00	1,760

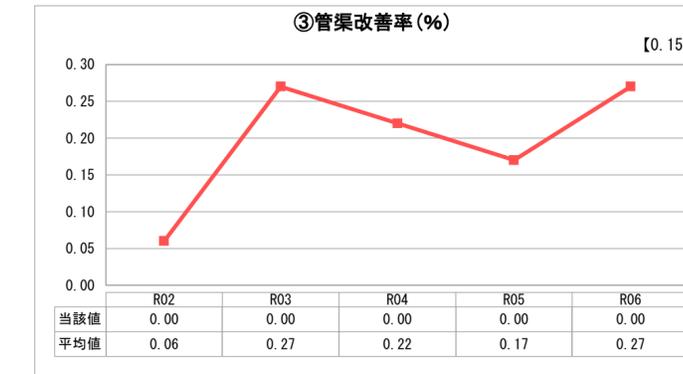
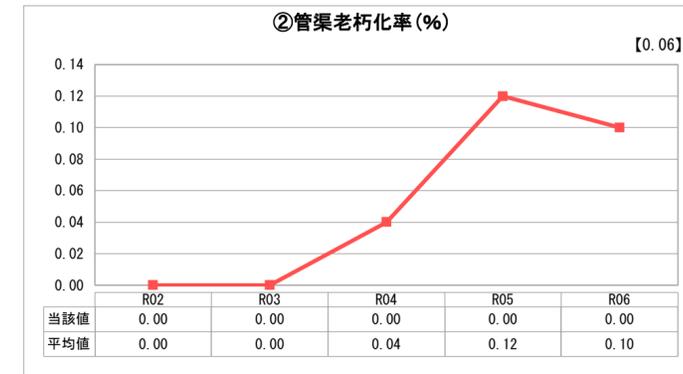
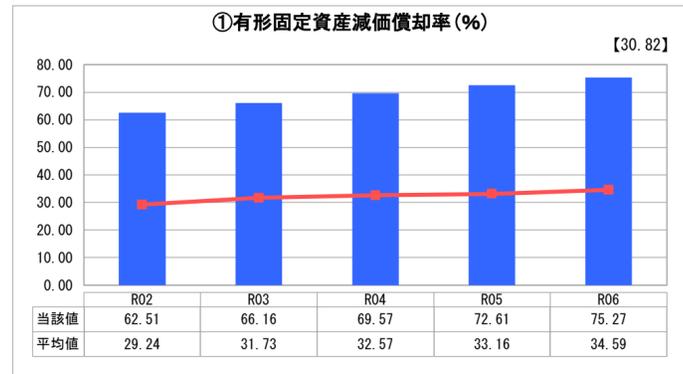
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,493,543	556.93	2,681.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,140	1.39	10,892.09

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

特定環境保全公共下水道事業は、市街化調整区域に立地しており、処理経費を下水道使用料でまかなえていない状況にある。ただし、特定環境保全公共下水道事業は、公共下水道事業と一体で経営しており、下水道事業全体の収支は黒字である。

### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を経過した管渠はまだ存在しないため、管渠の更新は実施していない。一方で有形固定資産全体では老朽化が進んでいるため、今後の改築更新に備える必要がある。

### 全体総括

公共下水道事業を含めた下水道事業全体として、今後、人口減少による有収水量の減少等により、下水道使用料の減収が見込まれる一方で、老朽化した施設の改築更新費用が増加する見込みであるため、令和2年4月に使用料改定を行った。しかし、物価高騰等による影響で処理経費が増えていることから、今後の状況を注視していく必要がある。引き続き維持管理の効率化を進めると同時に、さらなる改築更新の平準化を図ることで、健全かつ効率的な経営を実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

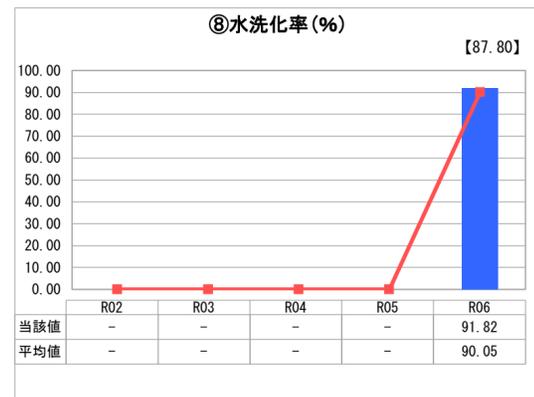
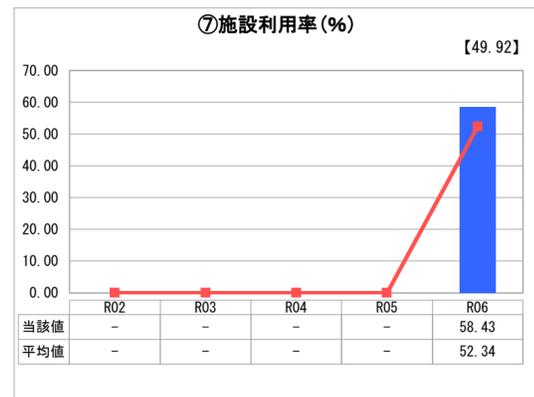
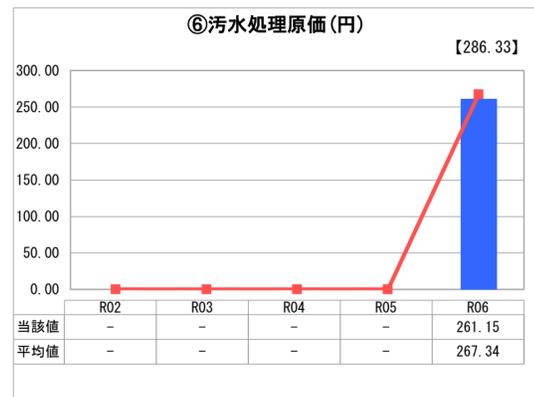
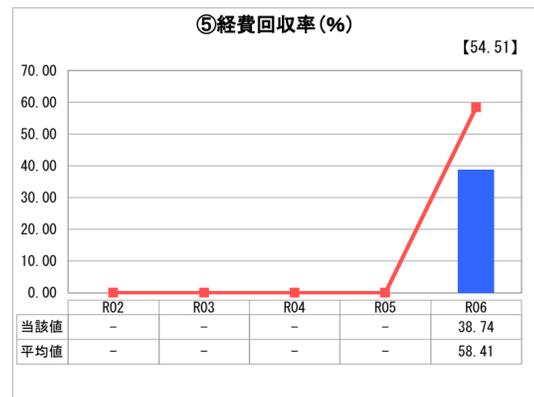
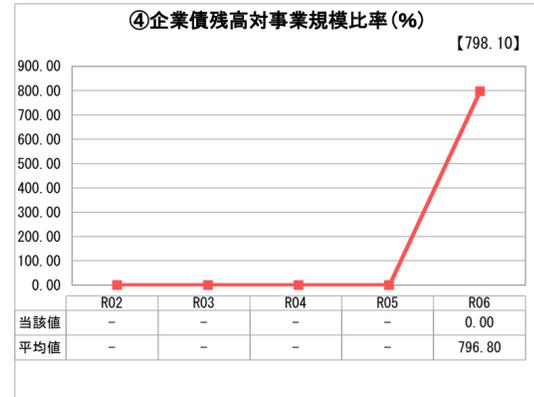
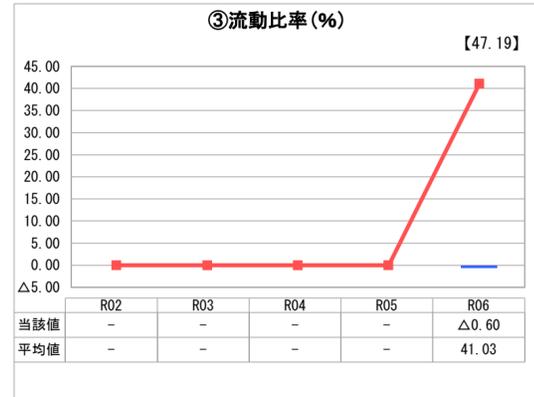
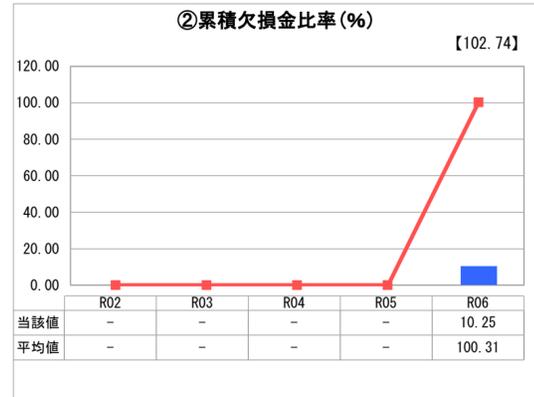
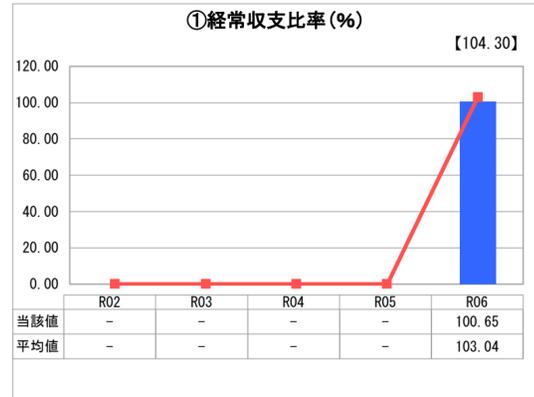
兵庫県 神戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	75.07	0.86	84.57	1,760

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,493,543	556.93	2,681.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,751	4.57	2,790.15

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

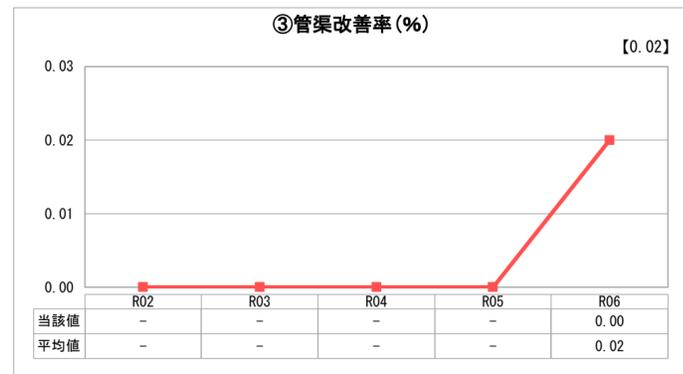
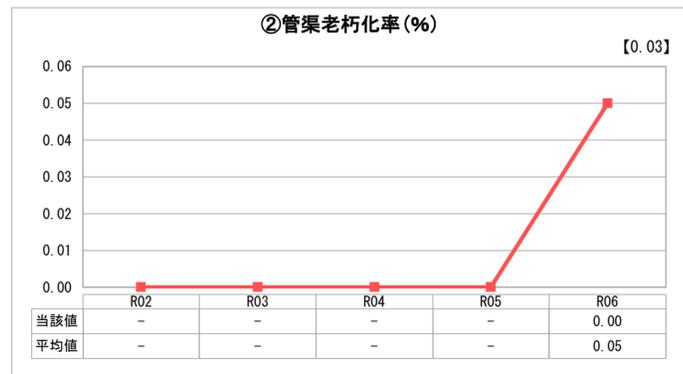
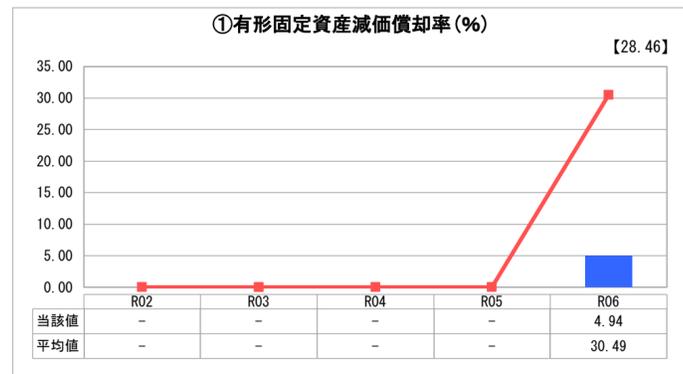
### 1. 経営の健全性・効率性について

①および⑤について、農業集落排水事業は市街化調整区域に立地し、小規模な処理施設が多数点在しており、公共下水道事業に比べて処理区域内の人口密度が低く、使用料に比べて必要となる費用が多い事業となっているため、汚水処理費を下水道使用料でまかなえず、一般会計からの繰入りに依存している状況にある。ただし、農業集落排水事業は、公共下水道事業と一体で経営しており、下水道事業全体の収支は黒字であり、欠損金も生じていない。②について、農業集落排水事業は、公共下水道事業と一体で経営しており、下水道事業全体では欠損金は生じていない。③について、農業集落排水事業は、公共下水道事業と一体で経営しており、下水道事業全体では流動比率は100%を超えている。⑦について、類似団体平均よりも高く、概ね適切な施設規模と考えられる。⑥および⑧について、おおむね類似団体平均と同水準である。

### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を経過した管渠はまだ存在しないため、管渠の更新は実施していない。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

神戸市の農業集落排水事業は、令和6年度より公営企業会計を適用した。汚水処理原価を下水道使用料でまかなうことができず、収入の大半を一般会計からの繰入金に依存している。また、今後、多くの機器が耐用年数を迎え、機器の更新が必要となる見込である。経営の改善策として、処理区の統廃合等、効果的な処理を積極的に進めていく。引き続き経営改善を図りつつ、適正な維持管理に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 三宮駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	57	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	無	25,110
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
525	400	代行制

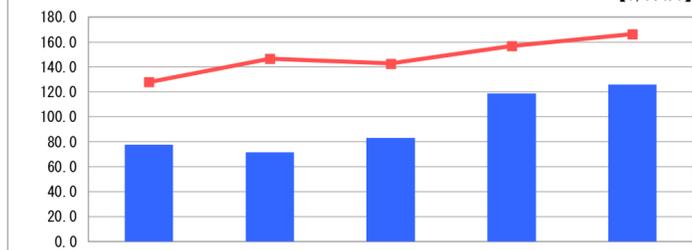
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- [ ] 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

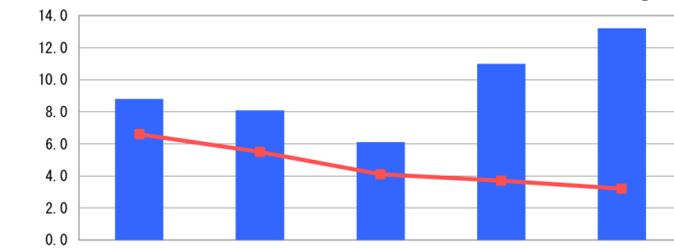
①収益的収支比率 (%)

[1,604.7]



②他会計補助金比率 (%)

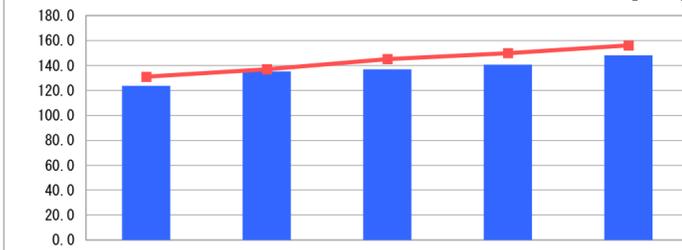
[3.8]



## 3. 利用の状況

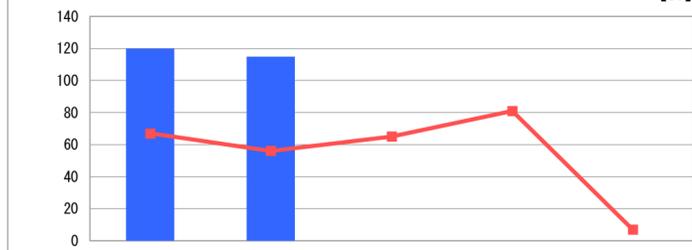
⑪稼働率 (%)

[218.2]



③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

[39]



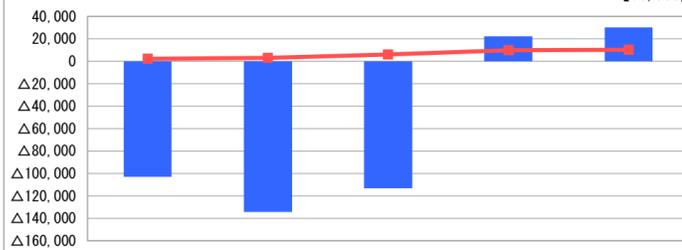
④売上高GOP比率 (%)

[2.0]



⑤EBITDA (千円)

[10,905]



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

1

1
---

⑧設備投資見込額 (千円)

543,854

543,854
---------

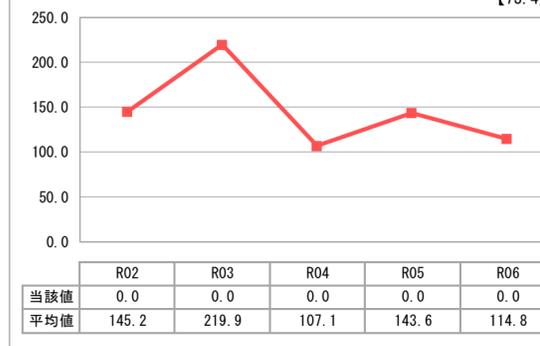
⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

[73.4]



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①収益的収支比率について、前年度より使用料収入が増加し100%を上回った。  
 ②他会計補助金比率については、R6年度はR5年度に引き続き増加した。  
 ③駐車台数一台当たりの他会計補助金額は3年連続0となり一般会計から繰入はない。  
 ④売上高GOP比率、⑤EBITDAは前年度よりも増加し、類似施設の平均値を上回った。

**2. 資産等の状況について**  
 ⑧設備投資見込額について、駐車場の規模が大きいこと、供用開始から50年以上経過している。引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は、平成27年度より0である。

**3. 利用の状況について**  
 ⑪稼働率は前年度よりも増加したが、平均を下回った。

**全体総括**  
 都心部の駐車場であり、市営駐車場事業全体に与える影響は大きい。事業収益は回復傾向が見られる。ただし、設備の老朽化が進んでいることから、引き続き設備投資の見込み額は増加する予定である。都心三宮再整備に伴う周辺土地利用環境の変化も踏まえ、収益の増加及び安定化を目指していく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 花隈駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	56	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	無	8,977
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
258	400	代行制

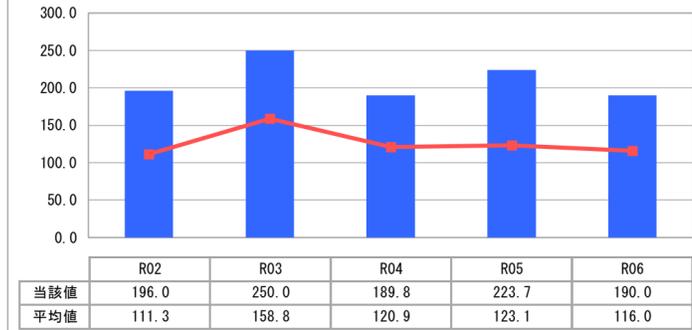
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

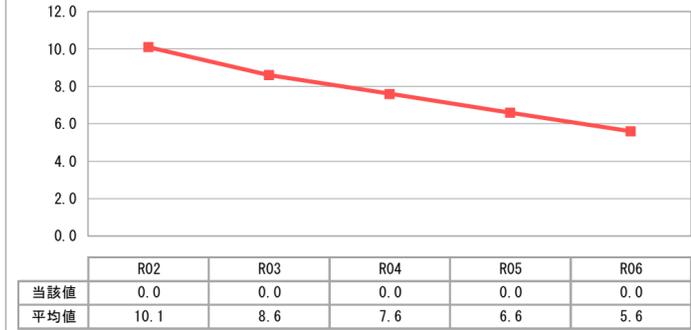
①収益的収支比率 (%)

【1,604.7】



②他会計補助金比率 (%)

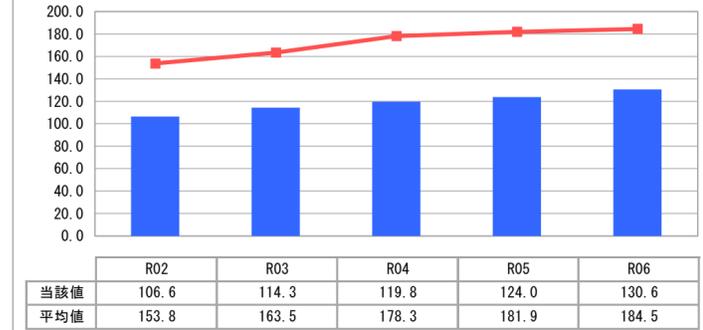
【3.8】



## 3. 利用の状況

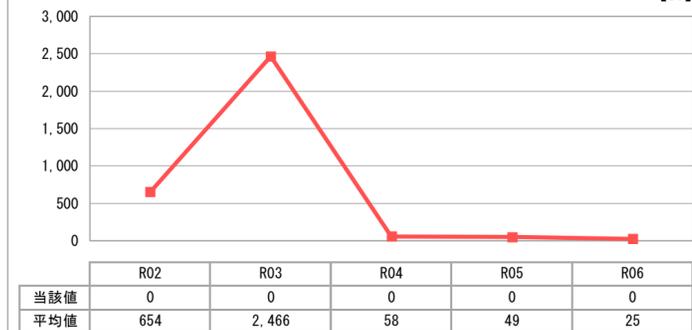
⑪稼働率 (%)

【218.2】



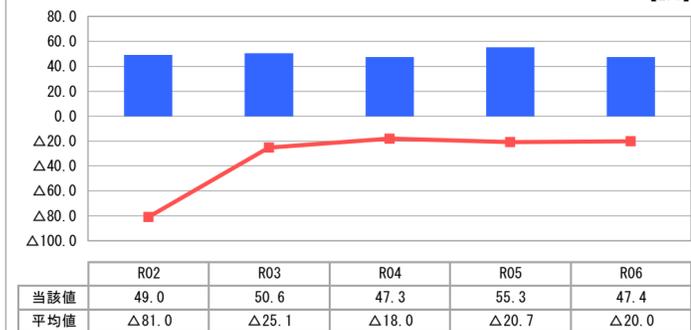
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

【39】



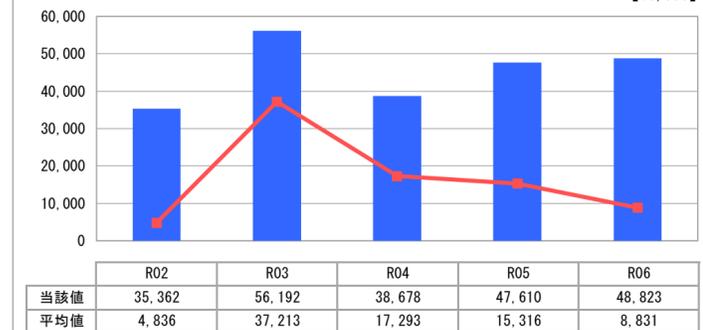
④売上高GOP比率 (%)

【2.0】



⑤EBITDA (千円)

【10,905】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

0

0
---

⑧設備投資見込額 (千円)

267,265

267,265
---------

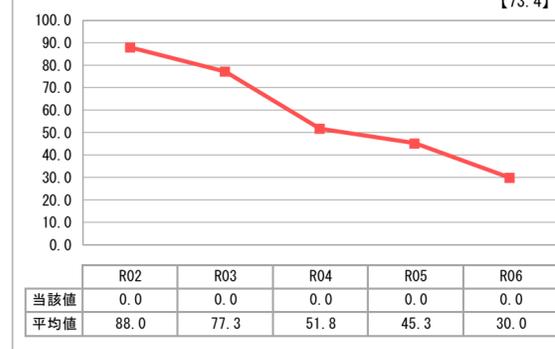
⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

【73.4】



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率は前年度より減少したが、190%の黒字である。  
 ④売上高GOPは減少したが、平均値を大きく上回った。⑤EBITDAは前年度より増加し、類似施設の平均値を大きく上回った。

2. 資産等の状況について  
 ⑧設備投資見込額は、計画的な設備修繕を行い昨年度より増加した。引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は、平成30年度より0である。

3. 利用の状況について  
 ⑪稼働率は前年度より微増した。類似施設の平均値を下回っているが、その理由としては、通勤目的の利用が高いなど1台あたりの駐車時間が長いことが考えられる。

全体総括  
 稼働率は高くないが、収益などの指標は好調であることから、健全な経営状態だといえる。ただし、設備の老朽化が進んでいることから、引き続き設備投資の見込み額は増加する予定である。今後も収益の増加及び安定化を目指していく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 湊川駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	54	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	無	11,469
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
282	400	代行制

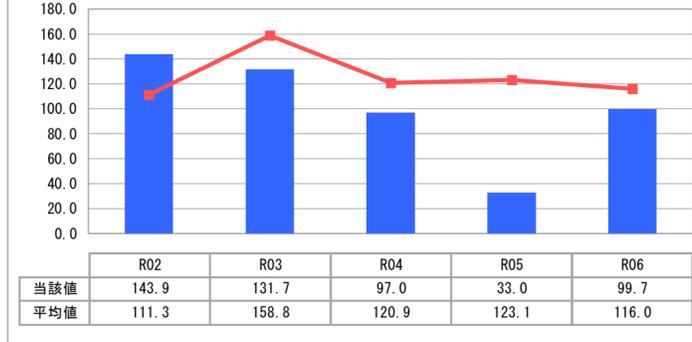
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

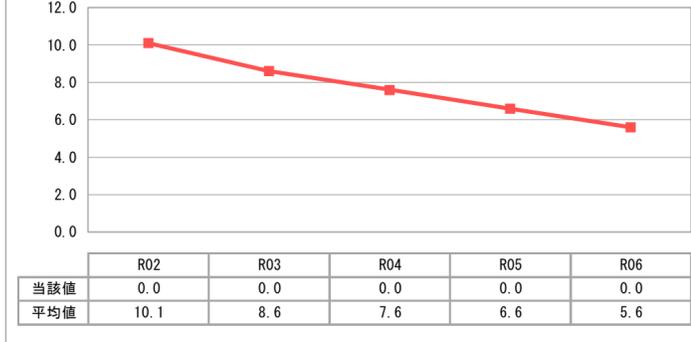
①収益的収支比率 (%)

【1,604.7】



②他会計補助金比率 (%)

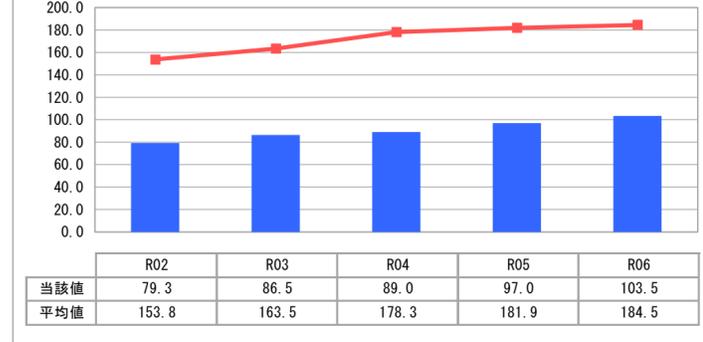
【3.8】



## 3. 利用の状況

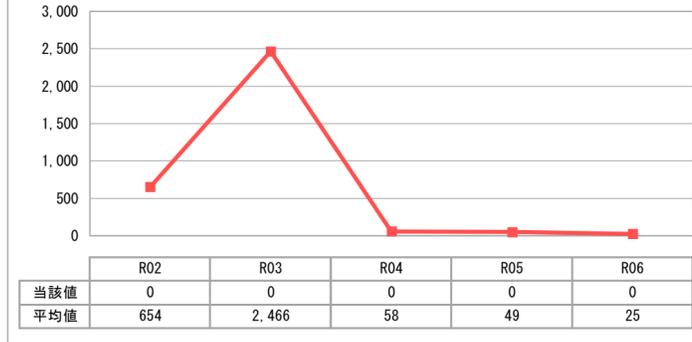
⑪稼働率 (%)

【218.2】



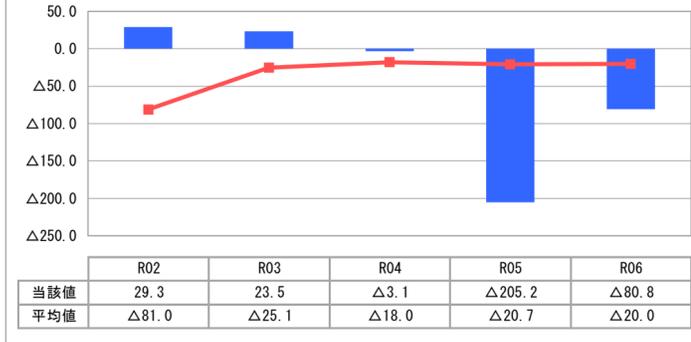
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

【39】



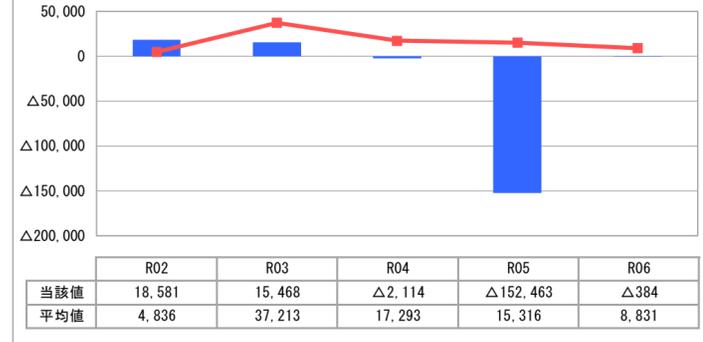
④売上高GOP比率 (%)

【2.0】



⑤EBITDA (千円)

【10,905】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

0

0
---

⑧設備投資見込額 (千円)

292,127

292,127
---------

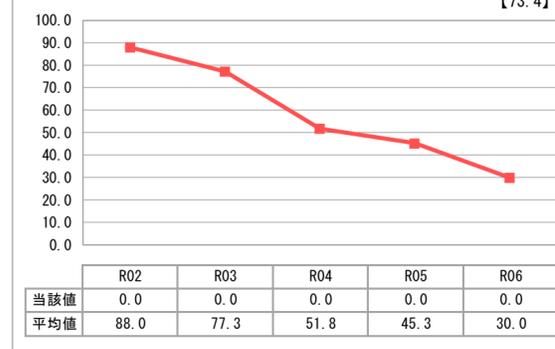
⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

【73.4】



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率はR2年度から減少傾向であったが、R6年度は99.7%になり、平均値を下回るものの、大きく回復した。今後、料金収入の動向を注視していく。

2. 資産等の状況について  
 ⑧設備投資見込額は前年度よりも増加したが、引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は、平成28年度より0である。

3. 利用の状況について  
 ⑪稼働率は前年度から微増したが、類似施設の平均値を下回った。

全体総括  
 稼働率は増加等、回復傾向にあるが、今後も収益の増加及び安定化を目指していく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 三宮第2駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	51	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	無	19,348
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
519	400	代行制

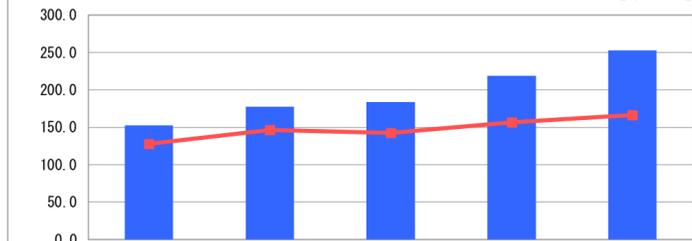
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

①収益的収支比率 (%)

【1,604.7】



②他会計補助金比率 (%)

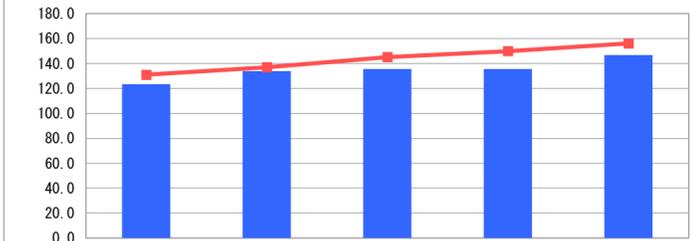
【3.8】



## 3. 利用の状況

⑪稼働率 (%)

【218.2】



③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

【39】



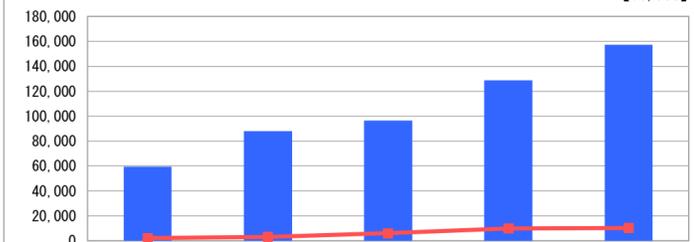
④売上高GOP比率 (%)

【2.0】



⑤EBITDA (千円)

【10,905】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

0

0
---

⑧設備投資見込額 (千円)

537,638

537,638
---------

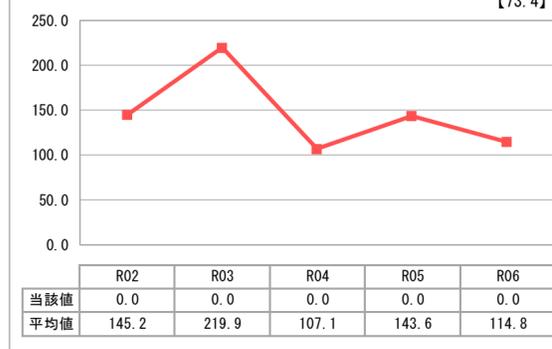
⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

【73.4】



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率は前年度から増加し、類似施設の平均を上回った。  
 ④売上高GOP比率、⑤EBITDAは前年度から増加しており、類似施設の平均値を大きく上回った。  
 三宮・三宮第2は一体で運営されており、健全な経営状態といえる。

2. 資産等の状況について  
 ⑧設備投資見込額は駐車場の規模が大きいこと、供用開始から50年以上経過しているが、昨年度より減少した。引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は平成29年度より0である。

3. 利用の状況について  
 ⑪稼働率は前年度比微増で、平均を下回った。

全体総括  
 都心部の駐車場であり、市営駐車場事業全体に与える影響は大きい。都心部の需要増加により事業収益は増加している。ただし、設備の老朽化が進んでいることから、引き続き設備投資の見込み額は増加する予定である。都心三宮再整備に伴う周辺土地利用環境の変化も踏まえ、収益の増加及び安定化を目指していく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 新長田駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	50	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	無	9,414
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
220	200	代行制

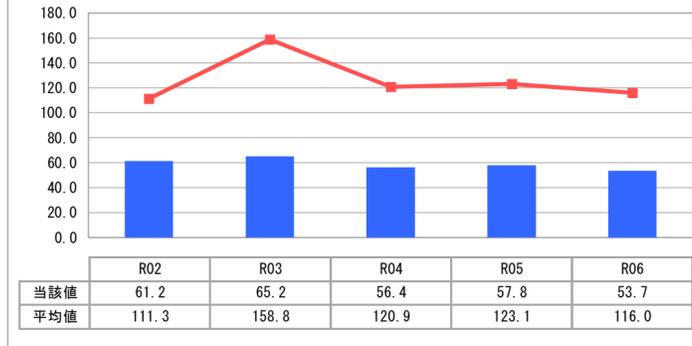
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

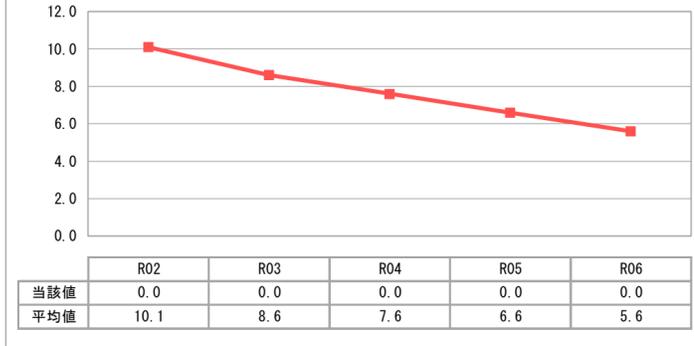
①収益的収支比率 (%)

[1,604.7]



②他会計補助金比率 (%)

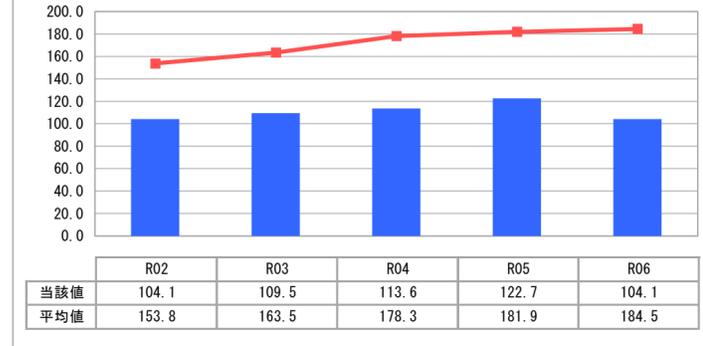
[3.8]



## 3. 利用の状況

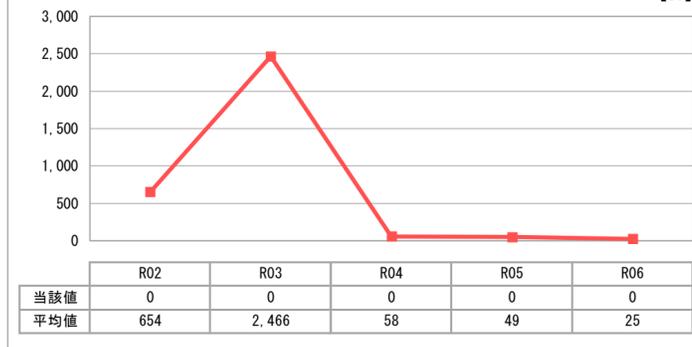
①稼働率 (%)

[218.2]



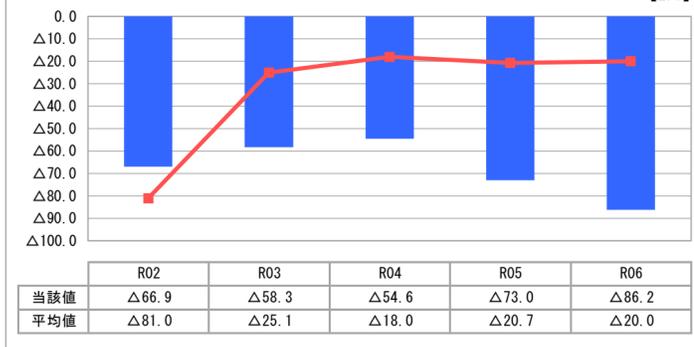
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

[39]



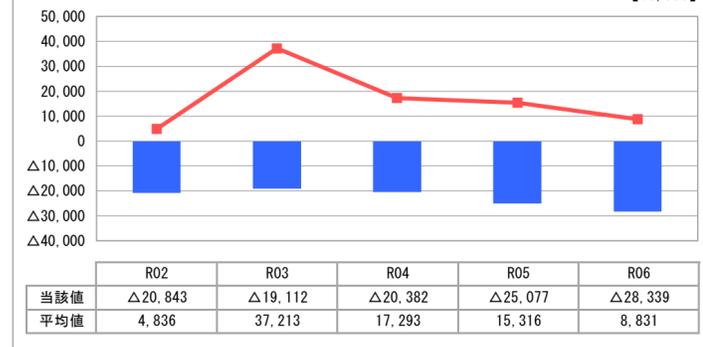
④売上高GOP比率 (%)

[2.0]



⑤EBITDA (千円)

[10,905]



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

0

0
---

⑧設備投資見込額 (千円)

227,901

227,901
---------

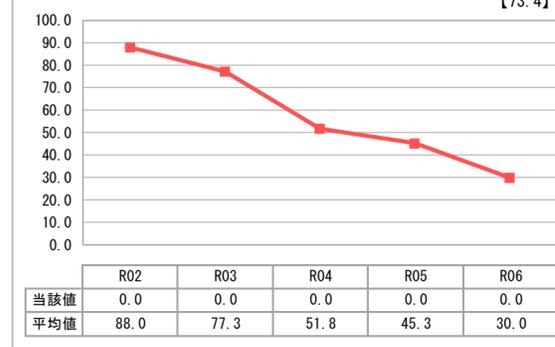
⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

[73.4]



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率は前年度比微減で、100%を下回る赤字である。  
 ④売上高GOP比率は昨年度より減少し、類似施設の平均値を大きく下回った。  
 ⑤EBITDAは前年度より減少し、平均値を大きく下回った。  
 今後、駐車需要の増加は見込めない。

2. 資産等の状況について  
 ⑧設備投資見込額は昨年度より増加した。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は平成29年度より0である。

3. 利用の状況について  
 ①稼働率は減少し、類似施設の平均値を下回った。供用開始時と比べ、近隣に駐車場が増えたことが原因と考えられる。

全体総括  
 令和8年度に新長田周辺駐車場は閉鎖し、近接する新長田駅前駐車場の経営改善を図る。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 長田北町駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	31	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	無	5,661
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
146	300	代行制

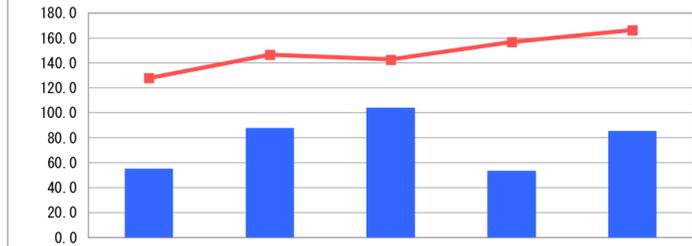
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

①収益的収支比率 (%)

【1,604.7】



②他会計補助金比率 (%)

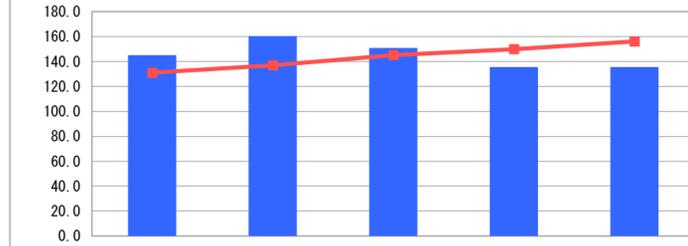
【3.8】



## 3. 利用の状況

⑪稼働率 (%)

【218.2】



③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

【39】



④売上高GOP比率 (%)

【2.0】



⑤EBITDA (千円)

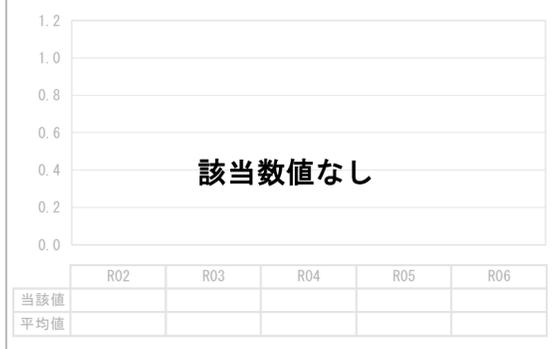
【10,905】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

0

0
---

⑧設備投資見込額 (千円)

151,243

151,243
---------

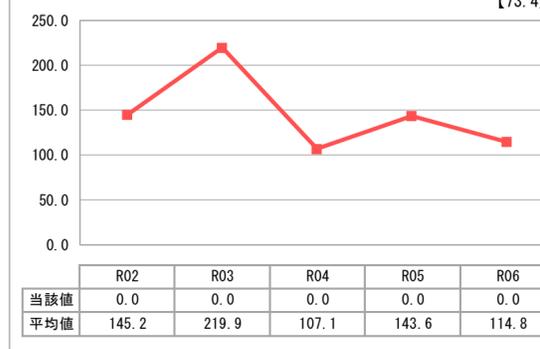
⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

【73.4】



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率は前年度から増加したものの、類似施設の平均値を下回った。  
 ④売上高GOP比率、⑤EBITDAは前年度から大幅に回復したものの、平均値を下回った。

2. 資産等の状況について  
 ⑧設備投資見込額は昨年度と比べ増加した。引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は0である。

3. 利用の状況について  
 ⑪稼働率は併設の長田区役所利用者に依存しており昨年度並みである。類似施設の平均値を下回った。

全体総括  
 長田区役所への来庁等の短時間利用者に依存し、回数券販売による所が大きい。定期券や土日祝日の駐車需要を取り込むなど、収益の増加及び安定化を目指していく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 鈴蘭台駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	30	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	無	3,939
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
91	250	代行制

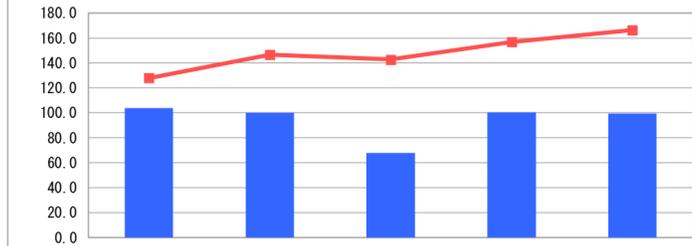
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

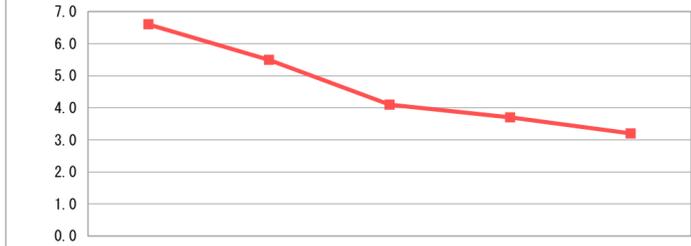
①収益的収支比率 (%)

【1,604.7】



②他会計補助金比率 (%)

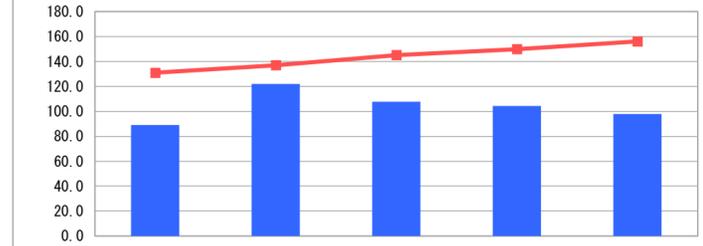
【3.8】



## 3. 利用の状況

⑪稼働率 (%)

【218.2】



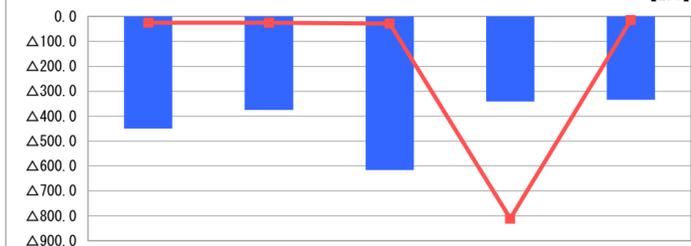
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

【39】



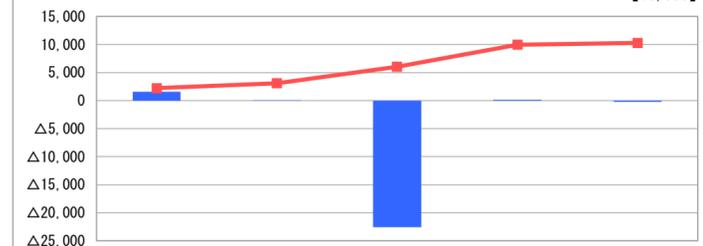
④売上高GOP比率 (%)

【2.0】



⑤EBITDA (千円)

【10,905】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

0

0
---

⑧設備投資見込額 (千円)

94,268

94,268
--------

⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

【73.4】



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率は微減し、赤字となった。  
 ④売上高GOP、⑤EBITDAは前年度より微減した。双方ともに類似施設の平均値を大きく下回った。併設する区民ホール利用者の影響が大きい。

2. 資産等の状況について  
 ⑧設備投資見込額は昨年度と比べ増加した。引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は0である。

3. 利用の状況について  
 ⑪稼働率は前年度より微減し、平均値を下回っている。

全体総括  
 北区役所の移転による需要減に伴い、経営状況は悪化している。今後、隣接する新北区民センターの建設に併せて、鈴蘭台駐車場の管理手法のあり方を検討していく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 細田駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	29	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	無	4,444
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
93	200	代行制

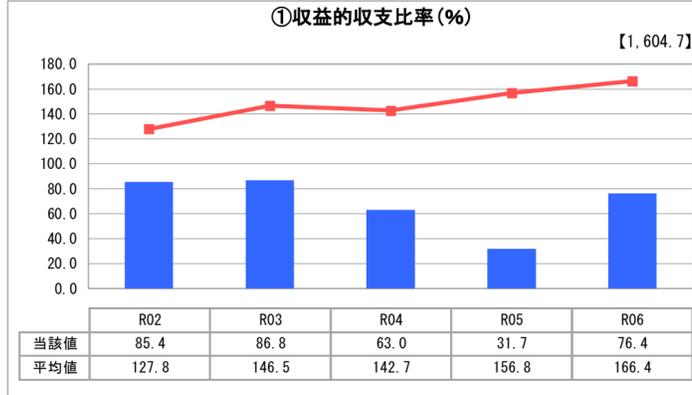
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

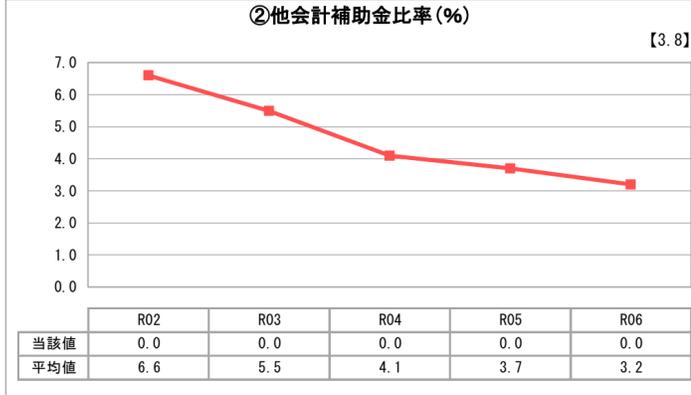
①収益的収支比率 (%)

【1,604.7】



②他会計補助金比率 (%)

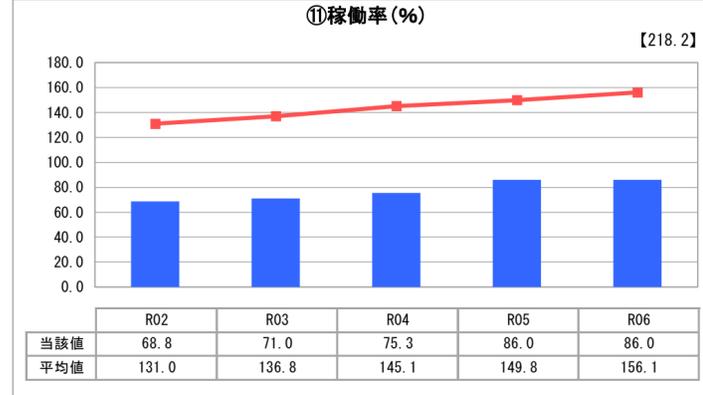
【3.8】



## 3. 利用の状況

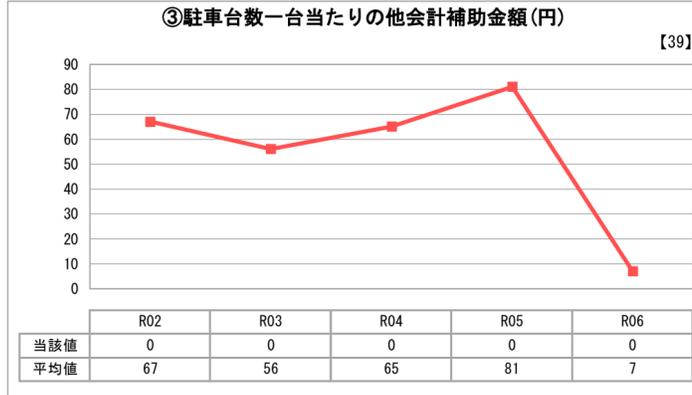
⑩稼働率 (%)

【218.2】



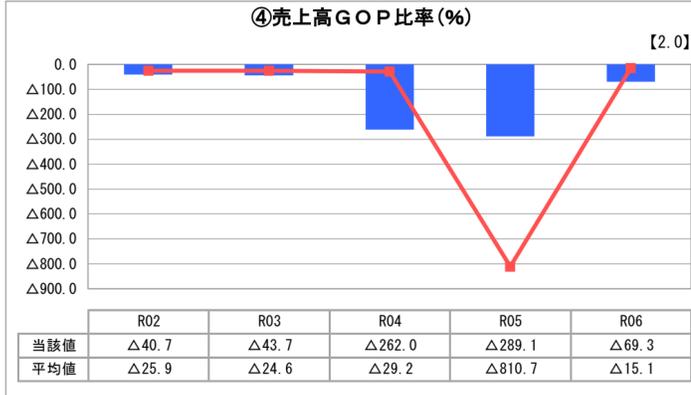
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

【39】



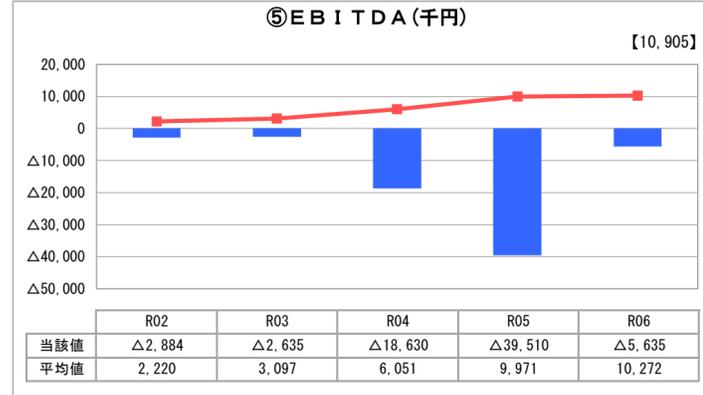
④売上高GOP比率 (%)

【2.0】



⑤EBITDA (千円)

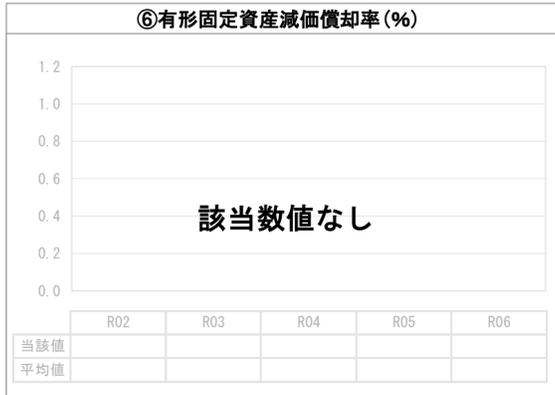
【10,905】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

0

0
⑧設備投資見込額 (千円)
96,340

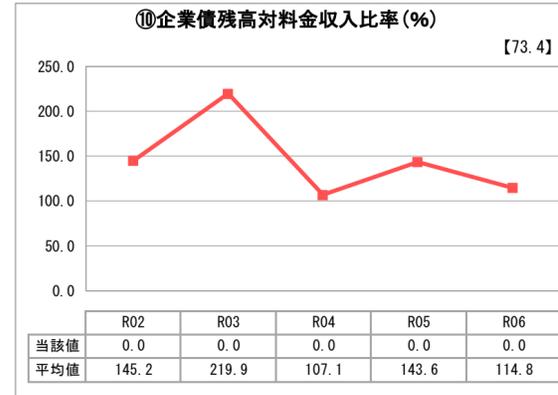
⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

【73.4】



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①収益的収支比率は前年度より大幅に増加したものの、平均値を下回り赤字である。  
 ②、③の他会計補助金は平成28年度より0である。  
 ④売上高GOP比率、⑤EBITDAは直近5年間類似施設の平均値を下回っているが、大幅に回復した。合築されている図書館等の他、近隣の集客施設が少なく大幅な需要増加は厳しいため、コスト削減等により収益構造の改善に努めていく。

**2. 資産等の状況について**  
 ⑧設備投資見込額は前年度より増加した。引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は、平成27年度より0である。

**3. 利用の状況について**  
 ⑩稼働率は前年度並みで、平均値を大きく下回る。

**全体総括**  
 新長田駐車場から巡回管理することによりコスト削減に取り組んでいるが、周辺の駐車需要の増加が見込めないことから、収益の改善は見込めない。今後、新長田駐車場の見直しと共に細田駐車場、新長田駅前駐車場の管理手法のあり方を検討していく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 新長田駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	28	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	無	8,450
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
151	300	代行制

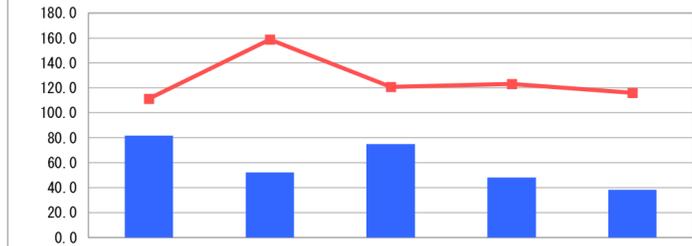
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

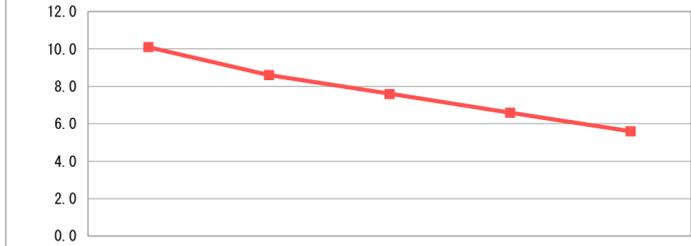
①収益的収支比率 (%)

【1,604.7】



②他会計補助金比率 (%)

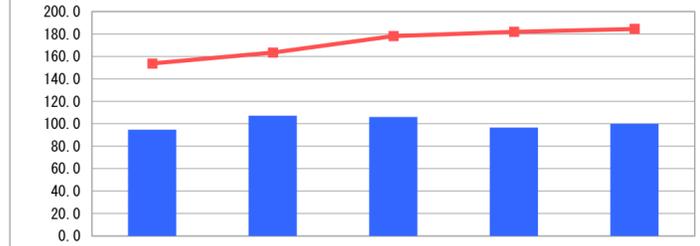
【3.8】



## 3. 利用の状況

⑩稼働率 (%)

【218.2】



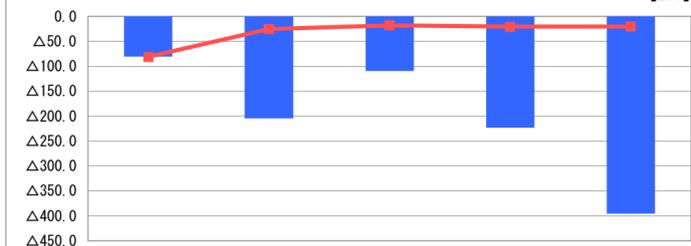
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

【39】



④売上高GOP比率 (%)

【2.0】



⑤EBITDA (千円)

【10,905】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

0

0
---

⑧設備投資見込額 (千円)

156,423

156,423
---------

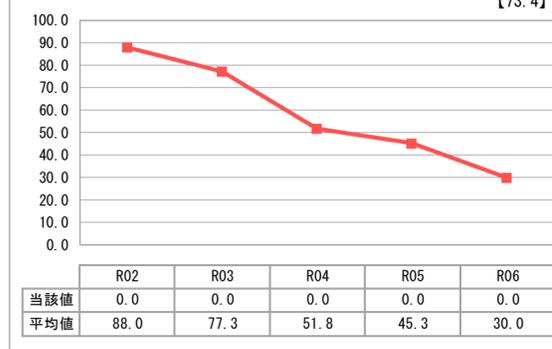
⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

【73.4】



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率は前年度より減少し40%を下回った。類似施設の平均値を下回った。  
 ④売上高GOP比率、⑤EBITDAは前年度から大幅に減少し、類似施設の平均値を下回った。

2. 資産等の状況について  
 ⑧設備投資見込額は昨年度より減少した。引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は、平成27年度より0である。

3. 利用の状況について  
 ⑩稼働率は前年度より増加したが、平均値を下回った。

全体総括  
 新長田駅周辺の駐車需要の増加が見込めないことから、大幅な収益の改善は見込めない。令和8年度に新長田駅前駐車場を閉鎖することから、新長田駅前駐車場を受け皿とし経営改善を図る。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 和田岬駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	23	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	無	7,222
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
141	300	代行制

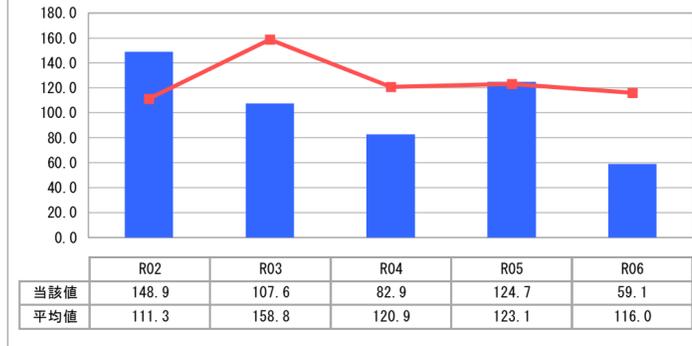
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

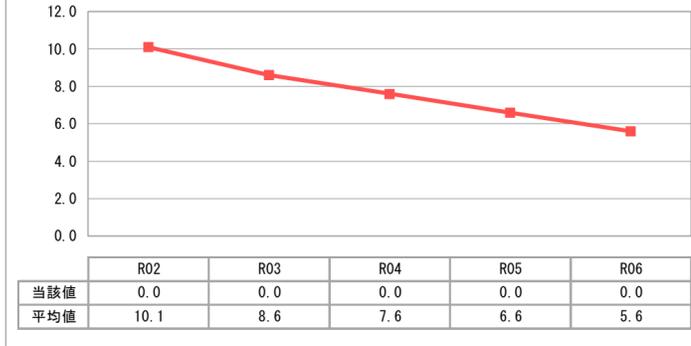
①収益的収支比率 (%)

【1,604.7】



②他会計補助金比率 (%)

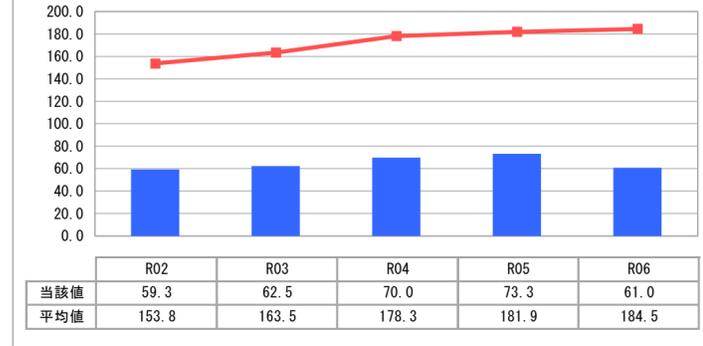
【3.8】



## 3. 利用の状況

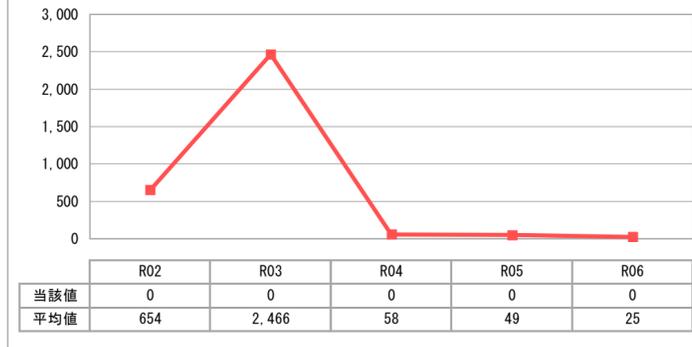
⑪稼働率 (%)

【218.2】



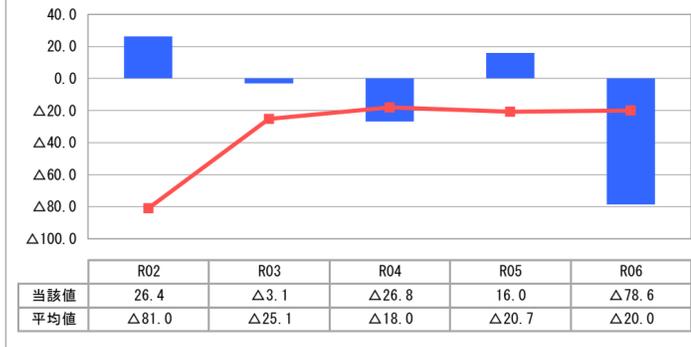
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

【39】



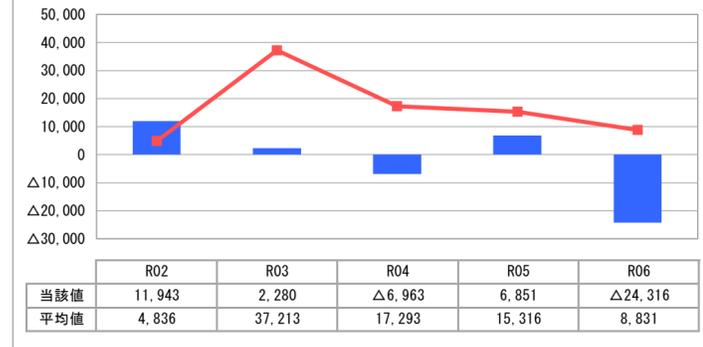
④売上高GOP比率 (%)

【2.0】



⑤EBITDA (千円)

【10,905】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

0

0
---

⑧設備投資見込額 (千円)

146,063

146,063
---------

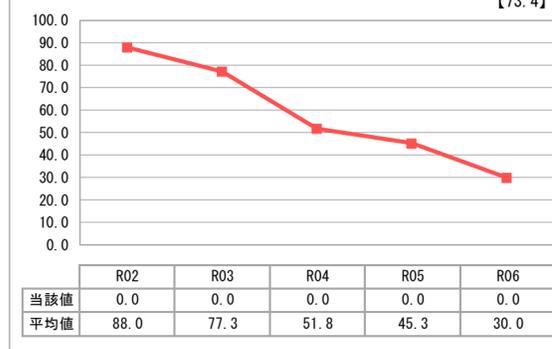
⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

【73.4】



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率は前年度から大幅に減少し、赤字となった。  
 ④売上高GOP比率、⑤EBITDAは、前年度から大幅に減少し、平均値を下回った。

2. 資産等の状況について  
 ⑧設備投資見込額は前年度より減少した。今後、必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は、平成30年度より0となっている。

3. 利用の状況について  
 ⑪稼働率は、直近5年間ほぼ横ばいであり、類似施設の平均値を下回っている。  
 通勤目的の長時間利用車両が多いためと考えられる。

全体総括  
 近隣の企業への通勤・訪問者の利用が多く、自動二輪車の駐車枠拡大を実施し、利用者数も増加した。今年度の収益的収支比率は黒字であり、収益の増加及び安定化を目指していく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 舞子駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	26	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	8,843
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
167	300	代行制

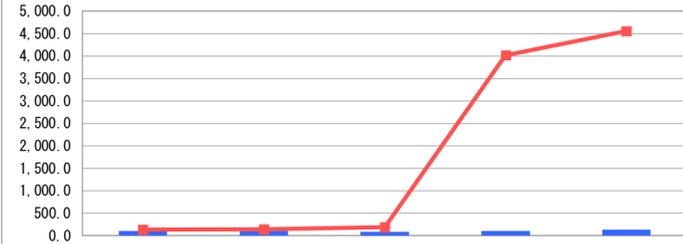
**グラフ凡例**

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

①収益的収支比率(%)

【1,604.7】



②他会計補助金比率(%)

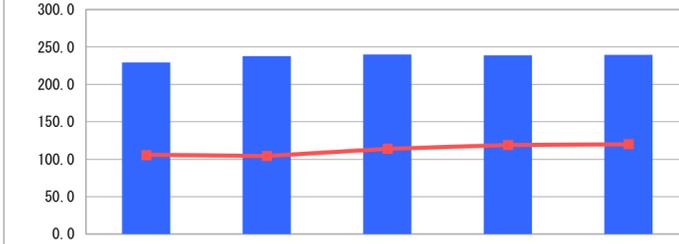
【3.8】



## 3. 利用の状況

⑪稼働率(%)

【218.2】



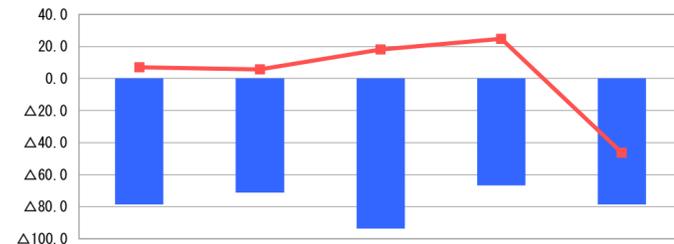
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額(円)

【39】



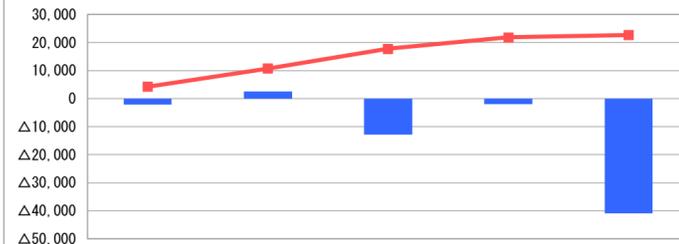
④売上高GOP比率(%)

【2.0】



⑤EBITDA(千円)

【10,905】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値					
平均値					

⑦敷地の地価(千円)

0

0
---

⑧設備投資見込額(千円)

172,997

172,997
---------

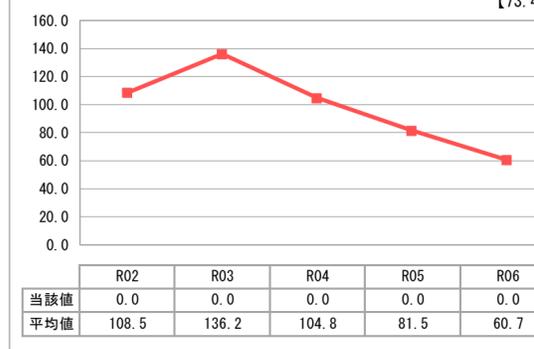
⑨累積欠損金比率(%)

該当数値なし

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値					
平均値					

⑩企業債残高対料金収入比率(%)

【73.4】



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率は前年度より増加した。類似施設の平均値を大きく下回っている。  
 ④売上高GOP比率、⑤EBITDAは減少し、類似施設の平均値を下回っている。  
 併設する商業ビルの回数券利用に依存する。

2. 資産等の状況について  
 ⑧設備投資見込額は前年度より減少した。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率は、平成29年度より0である。

3. 利用の状況について  
 ⑪稼働率は微増したが、直近5年間類似施設の平均値を上回っている。  
 隣接商業施設への買い物目的での利用が多く、比較的短時間での利用が多いためと考えられる。

全体総括  
 稼働率は高く、収益的収支比率についても比較的安定している。周辺商業施設との営業交渉や費用負担の見直しにより、経営状況の改善に努めていく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県神戸市 神戸駅南駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	4	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
駅	無	10,953
収容台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
252	300	代行制

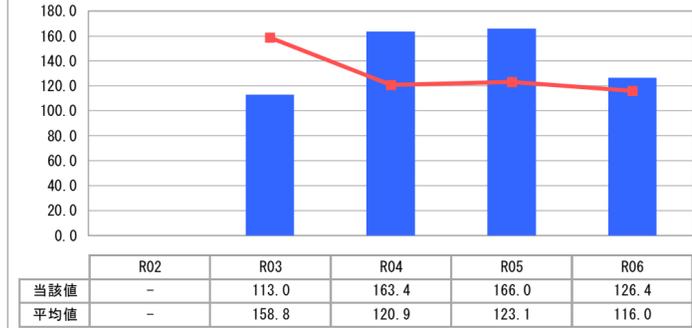
**グラフ凡例**

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況

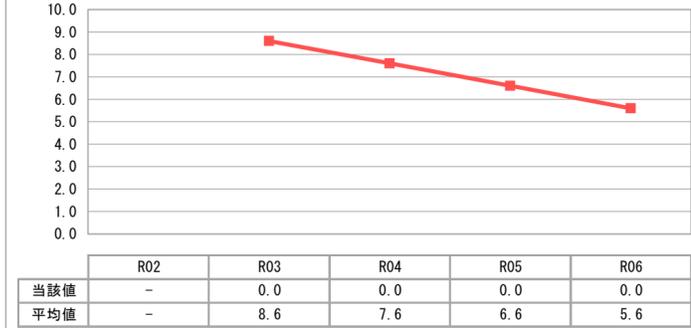
①収益的収支比率 (%)

【1,604.7】



②他会計補助金比率 (%)

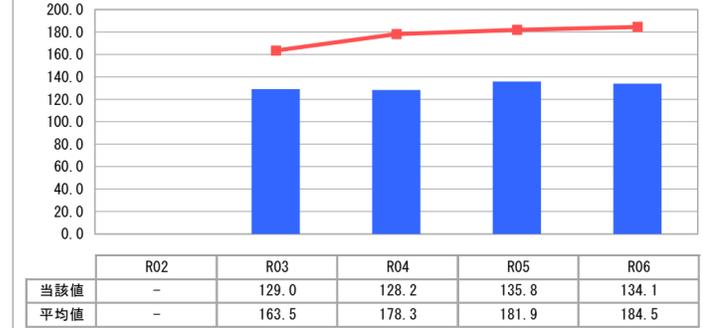
【3.8】



## 3. 利用の状況

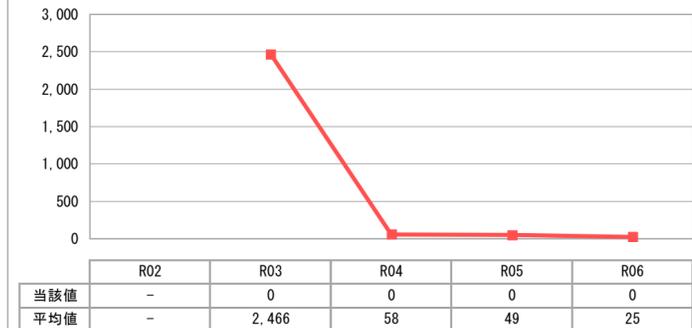
⑪稼働率 (%)

【218.2】



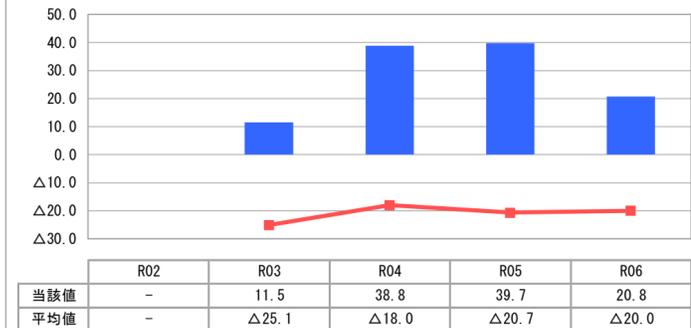
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円)

【39】



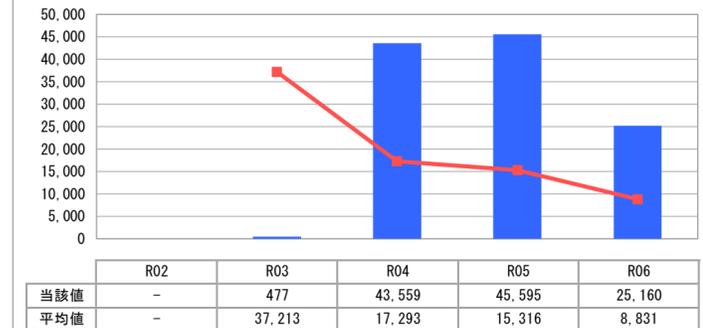
④売上高GOP比率 (%)

【2.0】



⑤EBITDA (千円)

【10,905】



## 2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)

該当数値なし



⑦敷地の地価 (千円)

0

0
---

⑧設備投資見込額 (千円)

313,881

313,881
---------

⑨累積欠損金比率 (%)

該当数値なし



⑩企業債残高対料金収入比率 (%)

【73.4】



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率は減少したものの、類似施設平均値を上回り、100%を超える黒字である。  
 ④売上高GOP比率、⑤EBITDAは減少したが、類似施設平均値を大きく上回っている。

2. 資産等の状況について  
 ⑧設備投資見込額は増加した。今後、必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。

3. 利用の状況について  
 ⑪稼働率は増加し100%を上回っているが、平均値を下回る。

全体総括  
 令和6年度は収入が減少したことから、動向を注視していく。引き続き収益の増加及び安定化を目指していく。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 中央市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	透I未訓ガ	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	101,981	非該当	非該当	7：1

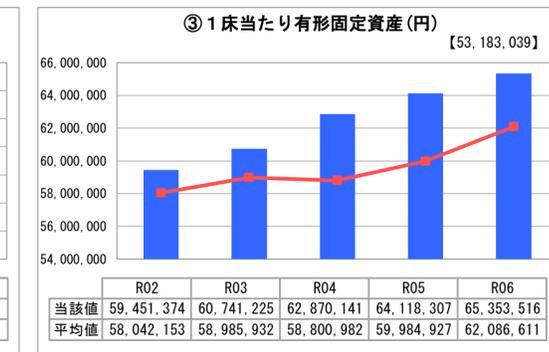
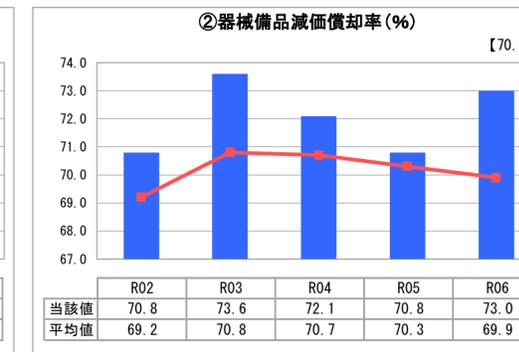
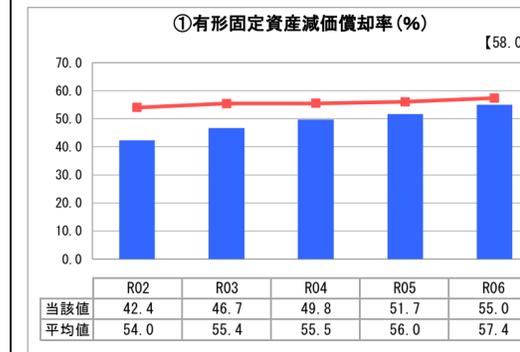
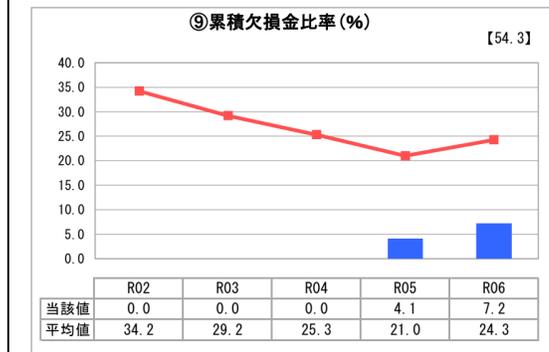
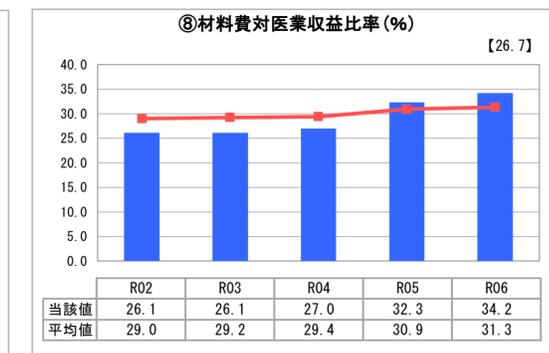
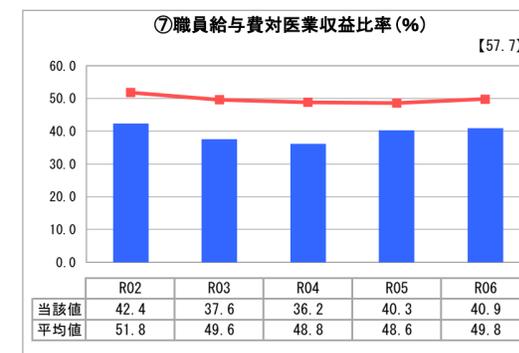
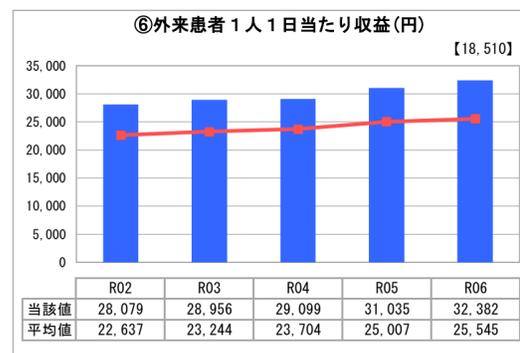
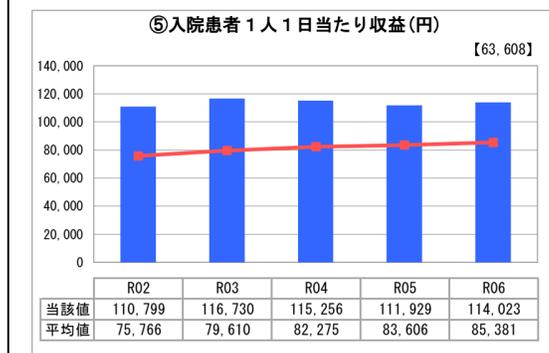
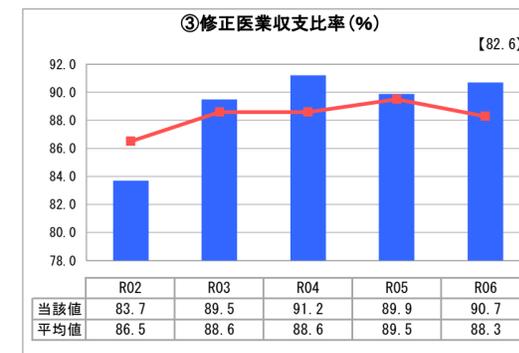
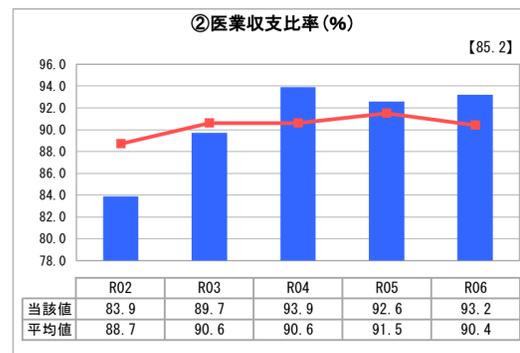
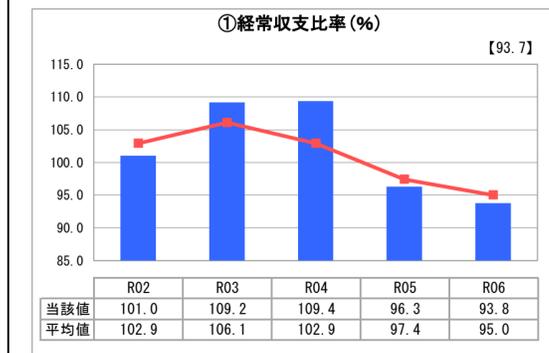
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
750	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
8	10	768
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
713	-	713

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

神戸市全域の基幹病院・救命救急センターとして24時間365日の救急医療を提供するとともに、高度医療・急性期医療を重点的に担い、最後の砦として市民の生命と健康を守る役割を担っている。※平成29年11月に先端医療センターを統合し、60床増床している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

年度の前半は、病棟の一部閉鎖や新型コロナウイルス感染症対応の継続等により入院患者数は低調であったが、年度後半より、病棟再開による通常診療との両立の実現、及び、病床管理システムの有効活用や下り搬送実施に向けた取り組みの促進により、入院患者数が回復した。また、診療報酬における加算促進や、手術室の運用効率化による手術件数の増加により入院単価は増加した。外来については、紹介患者数の増等により診療単価、患者数ともに増加した。一方、費用については、材料費交渉や委託費削減に取り組んだものの、給与改定等による人件費の増加や高額薬剤使用の増による材料費の増加、昨今の買上げ・物価高騰による委託費の増加等により医業費用も増加した。また、新型コロナウイルス感染症の病床確保補助金の皆減により補助金等収益が大幅に減少したことが影響し、経常損益は赤字となった。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、平成23年度に病院建物を新築・移転し、平成28年度に北館・研修棟を増築、平成29年度には先端医療センター病院の統合、令和2年度には新型コロナウイルス感染症患者専用病棟である臨時病棟の建設により、建物を取得したところであり、平均値を下回っている。器械備品減価償却率については、整備した機器の減価償却が進んだことから前年に比べ上昇した。

## 全体総括

令和6年度においても、新型コロナウイルス感染症対応に伴う診療制限の影響があり、入院・外来ともに患者数の確保が困難な状況が続いた。地域医療機関との連携の強化など経営改善策を講じた結果、年度後半には患者数に回復傾向が見られたものの、エネルギー価格の高騰や物価動向に伴う経費等の大幅な増高等により医業品費を中心に医業費用の増加は著しく、徹底した価格交渉など経費削減を進めたものの、医業費用は前年度を上回り、厳しい経営環境が続いている。そのため、持続可能な病院経営の実現に向けて、3か年以内に単年度黒字の達成を目指し、収益面においては、患者数の早期回復等に注力し、費用面においては、委託費等の固定費を含めた徹底的な経費削減に取り組むこととしている。特に費用面においては、委託業務を中心に他院比較を行いながら、事業者とも協議のうえ、業務内容の見直しを進めているほか、後発医薬品の積極的な活用や診療材料等の調達方法の見直しなど、あらゆる観点から経費削減に取り組んでいる。また、職員体制についても、抜本的な事務の見直し及び運営体制の最適化に取り組み、今後とも一層の経営改善を図っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 西市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	透訓	救臨感地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	28,813	非該当	非該当	7：1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
358	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	358
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
356	-	356

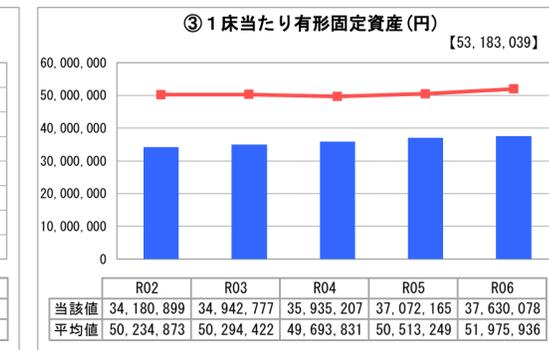
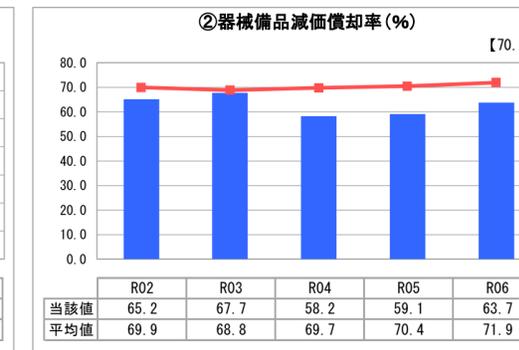
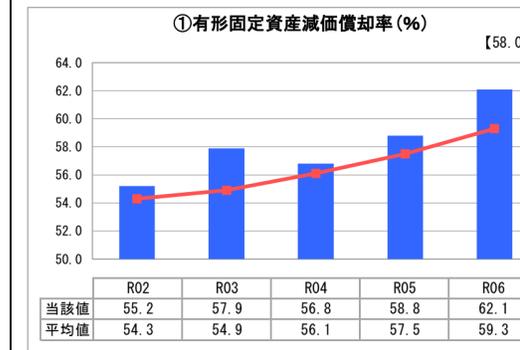
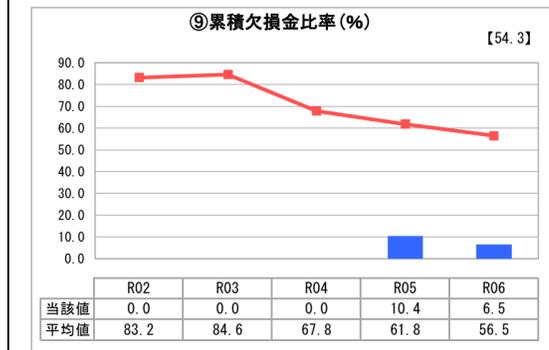
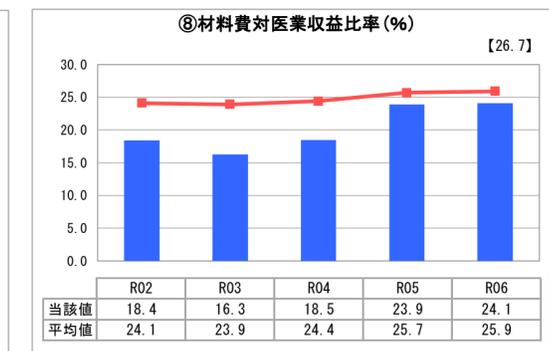
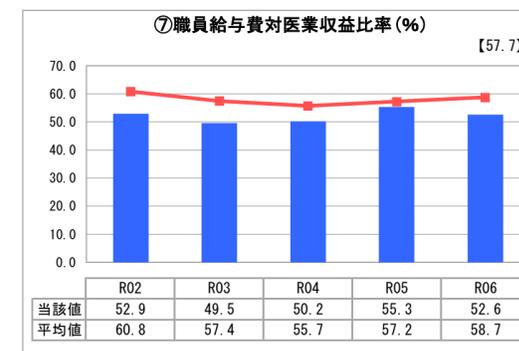
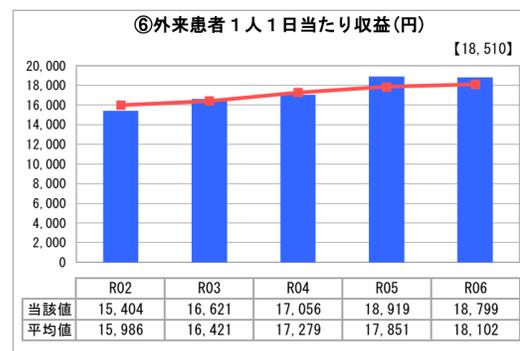
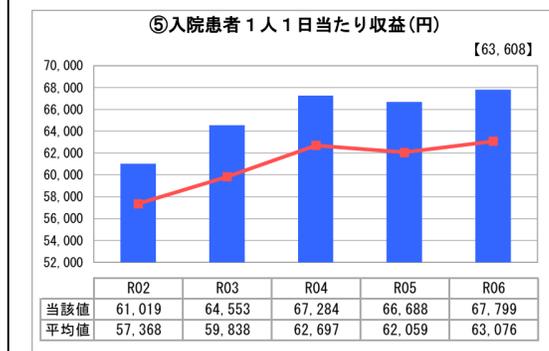
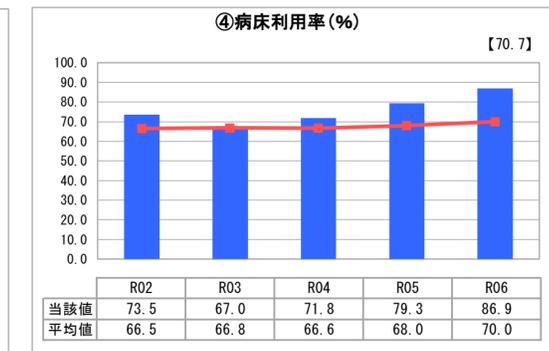
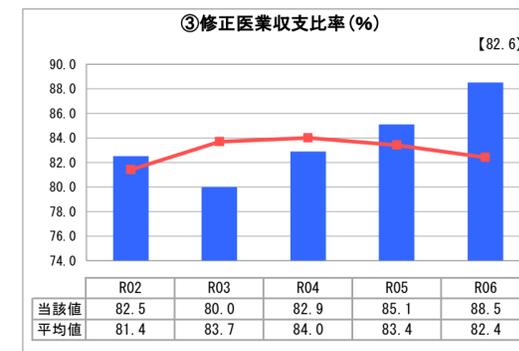
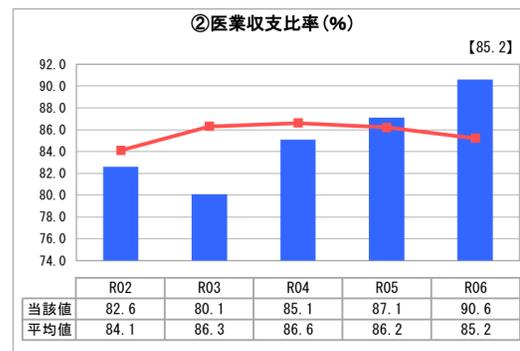
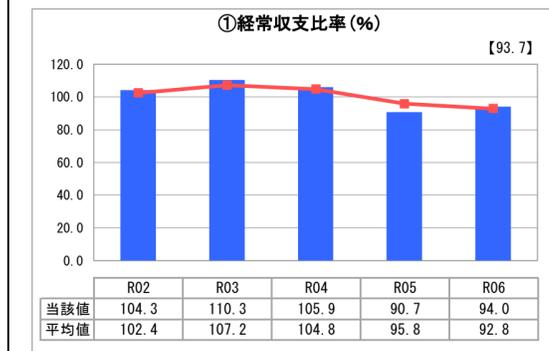
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

市街地西部の中核病院として、救急医療・急性期医療を担い、24時間365日市民の生命と健康を守る役割を担っている。また、在宅医療支援を含めた地域社会との連携を図り、地域医療支援病院としての役割も担っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

年度前半は入院・外来とも患者数が低調であったが、救急車応需の向上に努め過去最高となる搬送件数となり、医師同行での診療所訪問による集患対策や、DPC期間Ⅱを意識したベッドコントロール等に取り組んだ結果、年度後半にかけて回復傾向となった。また、上記取組により手術件数も増加したことなどにより診療単価も増加した。一方で、患者数増に伴う材料費の増加に加え、人件費・物価高騰の影響を受けて給与費や委託費、光熱水費等の経費が増加した。様々な経営改善の取組により医療収支は前年度比で好転したものの、経常損益としては赤字となった。

#### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は平均値を上回っている。病院建物は本館は築後25年、北館は築後33年が経過していることから、維持管理に努めており、今後も建物改修、設備更新を計画的に行っていくこととしている。器械備品減価償却率は、画像システムの更新などに伴い、整備した機器の減価償却が進んだことから前年に比べ上昇した。

### 全体総括

令和6年度においても、新型コロナウイルス感染症対応に伴う診療制限の影響があり、入院・外来ともに患者数の確保が困難な状況が続いた。地域医療機関との連携の強化など経営改善策を講じた結果、年度後半には患者数に回復傾向が見られたものの、エネルギー価格の高騰や物価動向に伴う経費等の大幅な増高等により医薬品費を中心に医療費用の増加は著しく、徹底した価格交渉など経費削減を進めたものの、医療費用は前年度を上回り、厳しい経営環境が続いている。そのため、持続可能な病院経営の実現に向けて、3か年以内に単年度黒字の達成を目指し、収益面においては、患者数の早期回復等に注力し、費用面においては、委託費等の固定費を含めた徹底的な経費削減に取り組むこととしている。特に費用面においては、委託業務を中心に他院比較を行いながら、事業者とも協議のうえ、業務内容の見直しを進めているほか、後発医薬品の積極的な活用や診療材料等の調達方法の見直しなど、あらゆる観点から経費削減に取り組んでいる。また、職員体制についても、抜本的な事務の見直し及び運営体制の最適化に取り組み、今後もより一層の経営改善を図っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 西神戸医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	30	対象	透I訓ガ	救臨が感地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	41,848	非該当	非該当	7：1

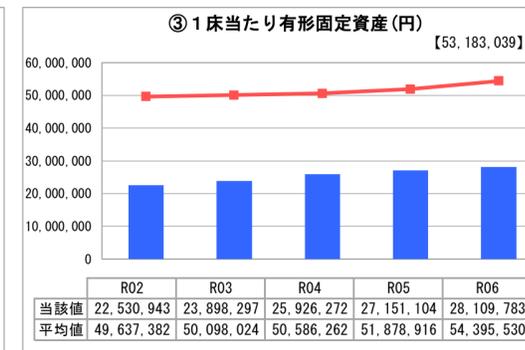
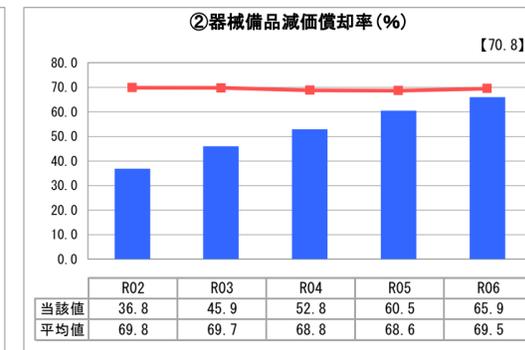
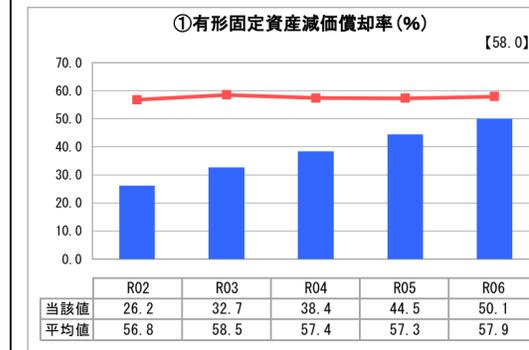
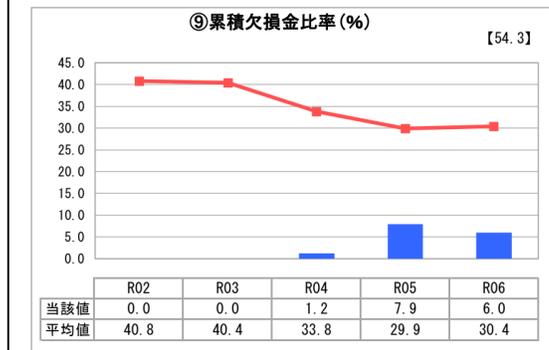
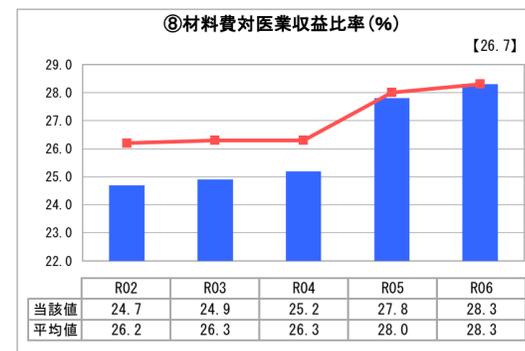
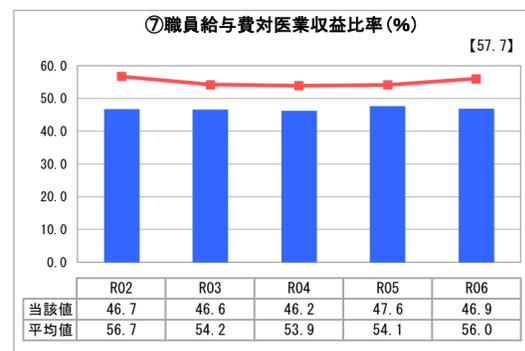
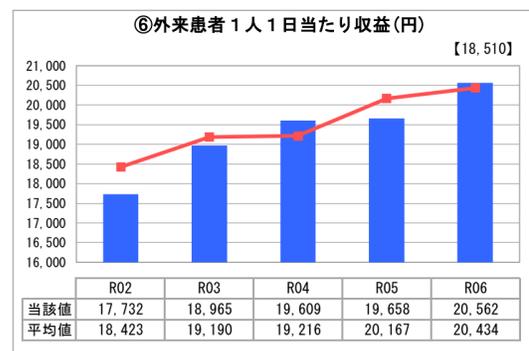
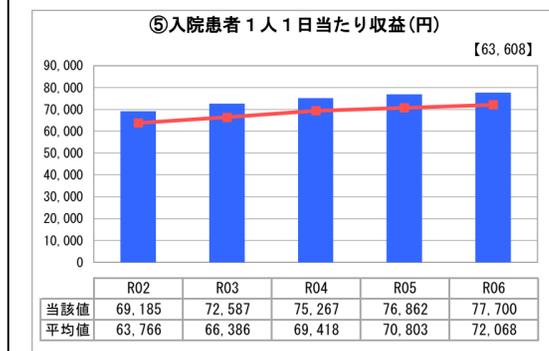
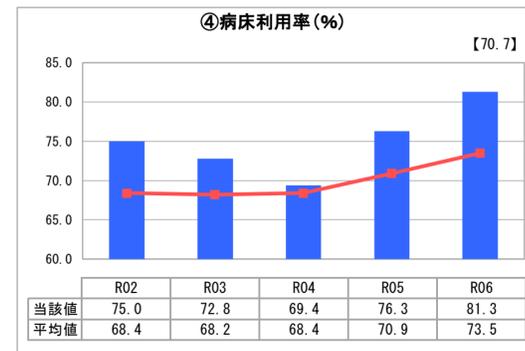
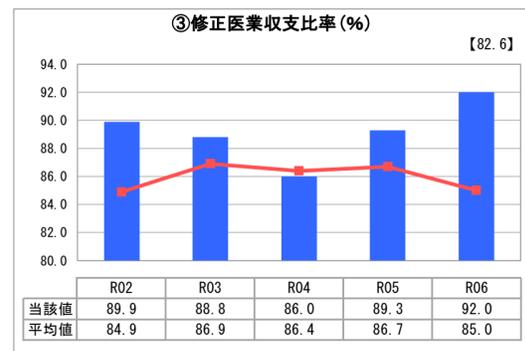
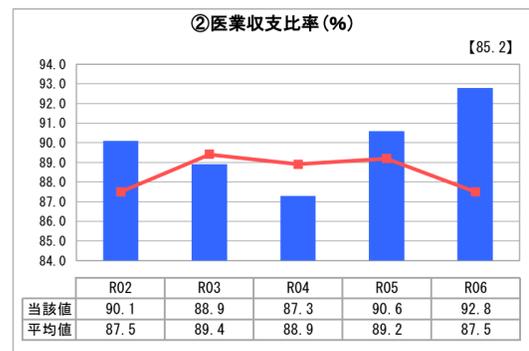
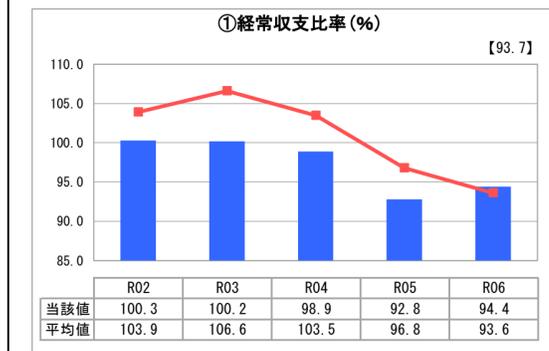
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
425	-	45
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	470
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
418	-	418

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

神戸西地域における中核病院として、高度医療・急性期医療・結核医療等を安定的に提供するとともに、地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携及び支援に取り組んでいる。また、地域がん連携拠点病院としての役割を担っている。  
※平成29年4月に旧神戸市地域医療振興財団から移管。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

年間を通じて病床利用率はコロナ前の水準には回復しなかったものの、内科当直の増員や、病床利用率・救急外来ベッドに関する院内での情報共有の方法を改善し、救急入院をより円滑に受け入れた結果、救急入院患者数は過去最高となり、新入院患者数は前年度比で増加した。また、外来においても化学療法件数の増加により診療単価が増加したことで、医業収益は前年度より増収となった。費用については、清掃業務の直営化による経費削減や同等品切替等による診療材料費の削減などに取り組んだものの、患者数増加に伴う医薬品費の増加や給与改定等に伴う給与費の増加により医業費用は前年度より増加となった。医業収支としては好転したものの、病床利用率が計画値に届かなかったことも影響し、経常損益は赤字となった。

### 2. 老朽化の状況について

平成29年4月の移管に伴い、設立団体から病院建物の出資を受けたことで有形固定資産減価償却率は平均値を下回っている。また、移管以降に機器等整備を進めたことから器械備品減価償却率は平均値を下回っているが、増加傾向にあるため、計画的な更新を進めていく必要がある。また、病院建物についても築後31年が経過していることから、維持管理に努めており、今後も建物改修、設備更新を計画的に行っていくこととしている。

## 全体総括

令和6年度においても、新型コロナウイルス感染症対応に伴う診療制限の影響があり、入院・外来ともに患者数の確保が困難な状況が続いた。地域医療機関との連携の強化など経営改善策を講じた結果、年度後半には患者数に回復傾向が見られたものの、エネルギー価格の高騰や物価動向に伴う経費等の大幅な増高等により医薬品費を中心に医業費用の増加は著しく、徹底した価格交渉など経費削減を進めたものの、医業費用は前年度を上回り、厳しい経営環境が続いている。そのため、持続可能な病院経営の実現に向けて、3年以内に単年度黒字の達成を目指し、収益面においては、患者数の早期回復等に注力し、費用面においては、委託費等の固定費を含めた徹底的な経費削減に取り組むこととしている。特に費用面においては、委託業務を中心に他院比較を行いながら、事業者とも協議のうえ、業務内容の見直しを進めているほか、後発医薬品の積極的な活用や診療材料等の調達方法の見直しなど、あらゆる観点から経費削減に取り組んでいる。また、職員体制についても、抜本的な事務の見直し及び運営体制の最適化に取り組み、今後もより一層の経営改善を図っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 アイセーター病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	感
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	5,059	非該当	非該当	10:1

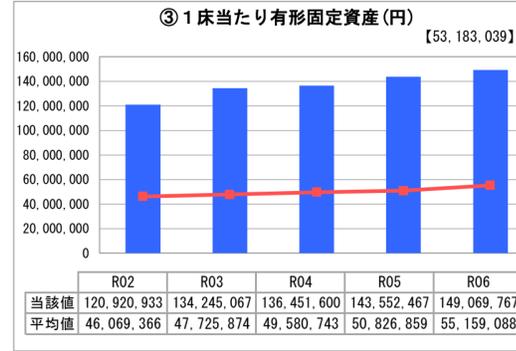
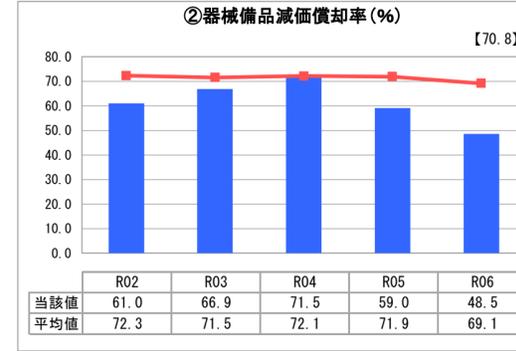
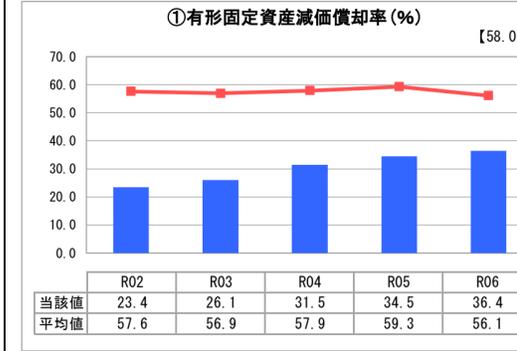
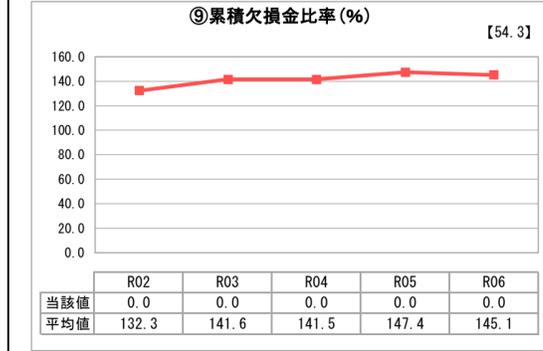
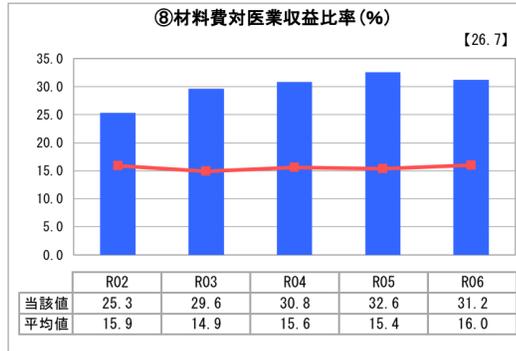
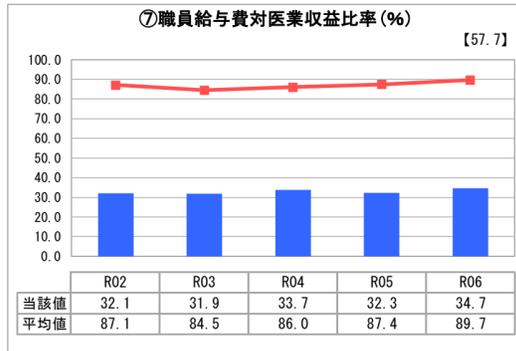
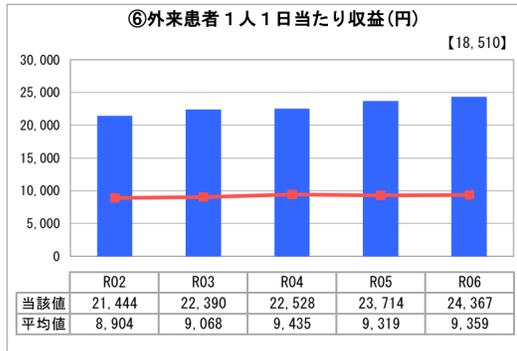
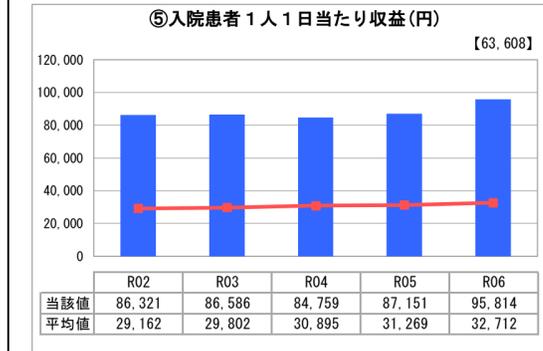
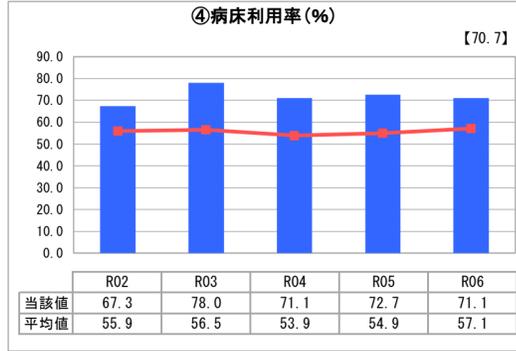
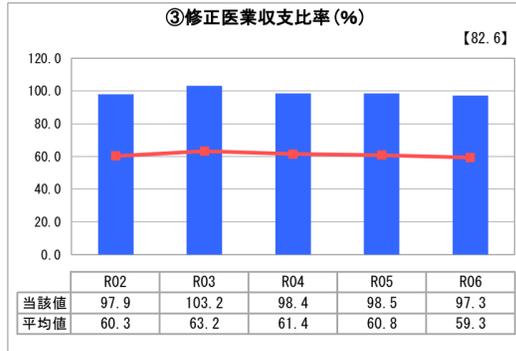
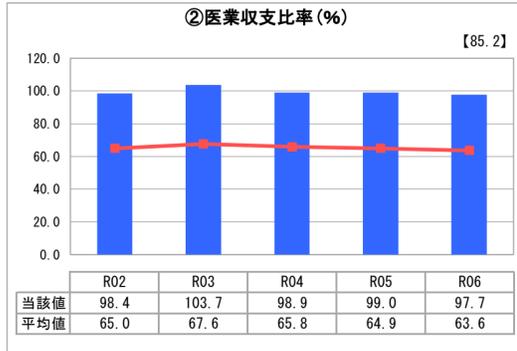
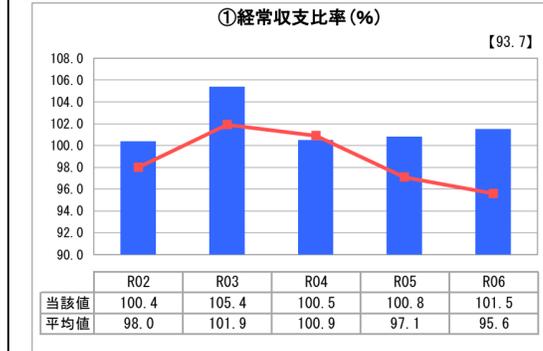
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
30	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	30
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
30	-	30

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

### I 地域において担っている役割

眼科専門病院として、標準医療から最先端の高度医療まで地域医療を高い水準で担うとともに、眼疾患に係る治療・臨床研究を推進する。また、重篤な眼疾患から社会生活への復帰を支援するワンストップセンターとしての役割を担っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

収入面では、医師の離職などの影響により硝子体注射件数・手術件数が伸びず外来収益は前年度比で減となったが、入院では白内障手術の入院日数を短縮することで病床・手術室を効率的に運用したほか、積極的な診療所訪問による初診紹介患者の獲得など新入院患者数・手術件数の増加に努めた結果、診療単価が増加した。加えて、積極的に研究に取り組んだことに伴い治療収益も大幅に増益した結果、医業収益は前年度より増収となった。

費用面では、研究推進のための人員体制強化による給与費の増加や、手術件数の増に伴う材料費の増加、物価高騰の影響等による委託費や光熱水費の増によって、医業費用が前年度より増加したが、委託業務や物品購入において粘り強く価格交渉を行い一定の削減効果を得られた結果、平成30年度から7年連続の経常損益の黒字を達成した。

#### 2. 老朽化の状況について

平成29年12月の開院時に新たに建物、医療機器等を整備したことから、有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率ともに平均値を下回っている。開院から7年を経過し、医療機器等の更新を計画的に行っていく。

### 全体総括

令和6年度は、平成30年度から続く7年連続の経常黒字を確保した。中堅医師の離職により入院・外来ともに延患者数は減少したものの、年度早期に実施した入院手術の運用見直しにより、手術件数と診療単価が向上、入院収益は増収となった。外来では、事務職員による地域医療機関への訪問強化により、紹介患者数が過去最多となった。費用面では、手術件数の増加や物価高騰による材料費の増に加え、看護師、視能訓練士等の増員や研究出向職員の受け入れに伴い給与費が増加した。さらに検査委託費や光熱水費の増等により、経費も前年度を上回った。

iPS細胞を用いた臨床研究の継続や、希少疾患に対する遺伝子治療薬の医師主導治療の準備を進め、標準医療から最先端医療までを網羅する眼科中核病院としての役割を果たす。また、医師・視能訓練士のさらなる増員による医療機能と患者サービスの向上、広報活動や地域連携の強化による増患対策を徹底により、安定的な黒字経営とより一層の経営改善を図っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

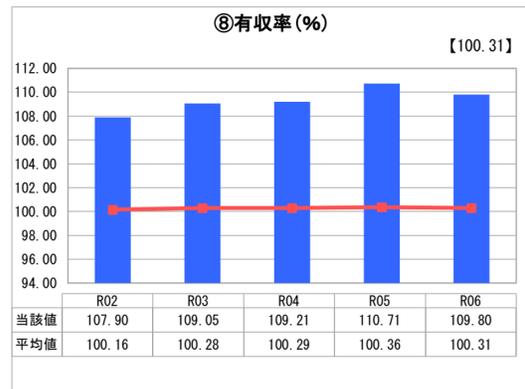
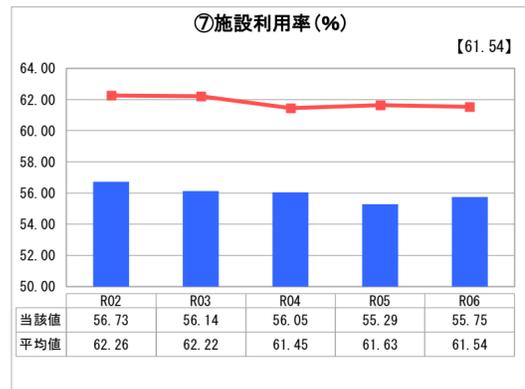
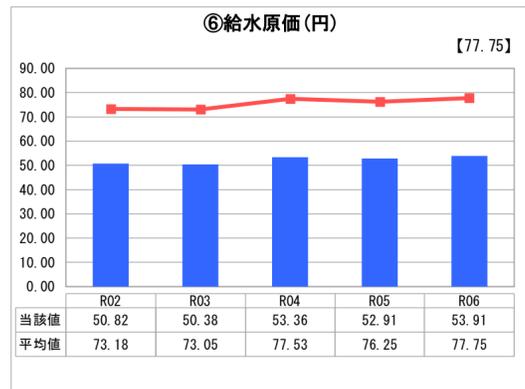
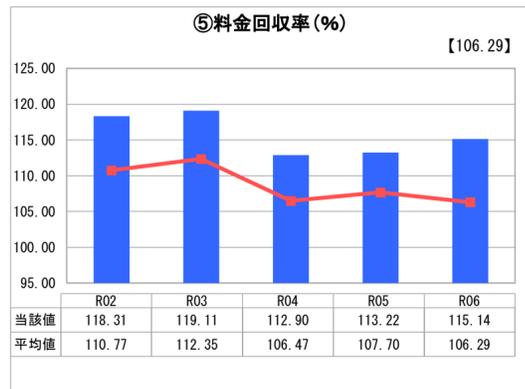
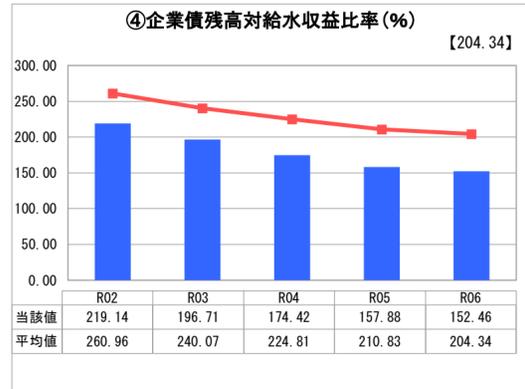
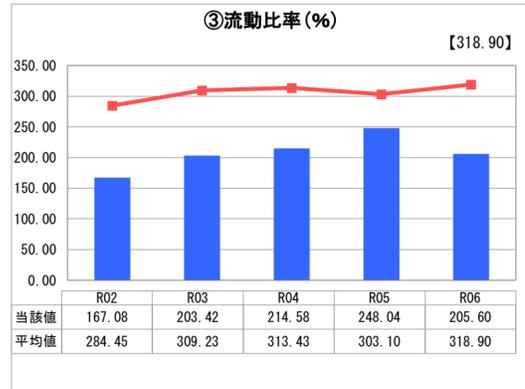
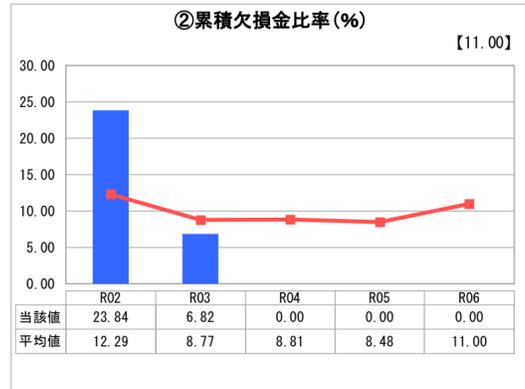
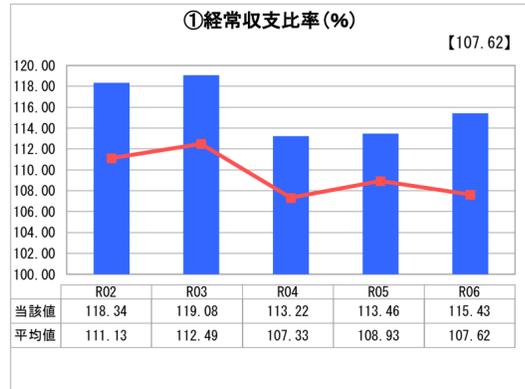
兵庫県 阪神水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	用水供給事業	B	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	75.76	99.92	0	

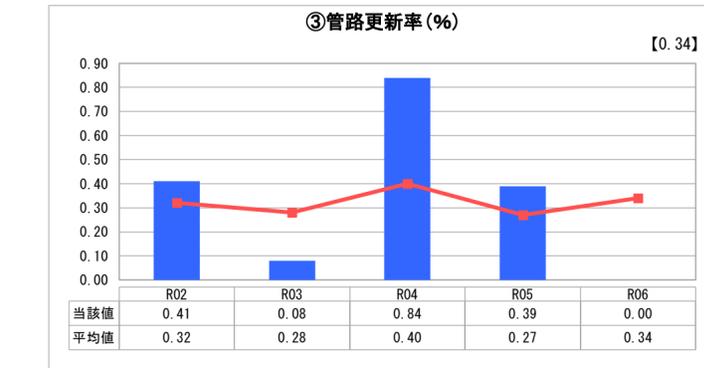
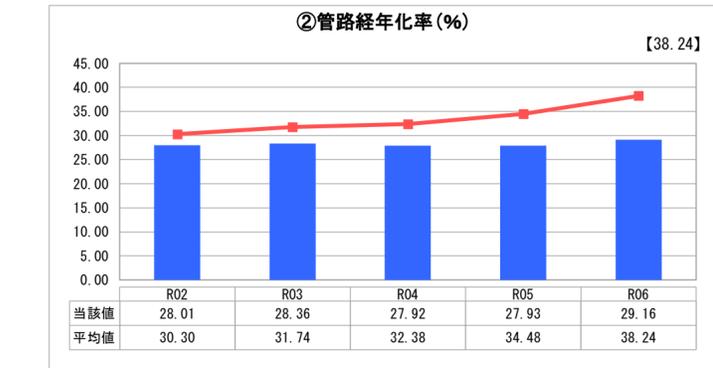
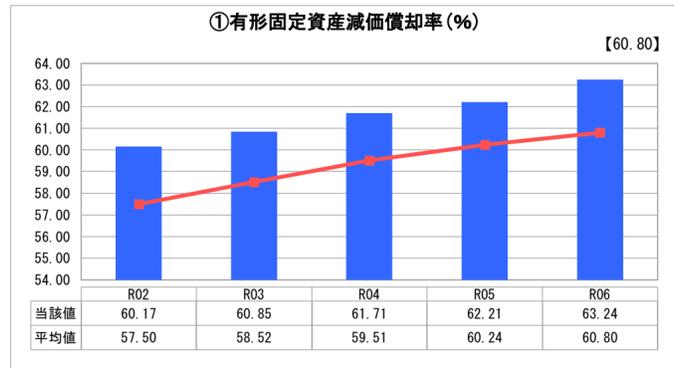
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,741,439	467.14	5,868.56

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当企業団は、昭和11年の設立以降、発展を続ける構成市の水需要に対応し、安定供給を確保するため、拡張事業や水源開発事業などの大規模な投資を進めてきたが、それらの財源として、企業債や内部留保資金を活用し、長期に渡って投資を回収する方針の下、構成市の受水費負担の軽減、平準化に努めてきた。

このような背景から、特に②累積欠損比率が平均値を大きく上回っていたが、職員数の削減、高金利企業債の繰上償還等による費用削減、資産の有効活用等による収益確保策などの経営改善策に取り組んだ結果、令和4年度に累積欠損金を解消し、累積欠損比率が0%となった。①経常収支比率については前年度同様平均値を上回り、⑥給水原価については平均値を下回り、⑤料金回収率については100%を超えている。なお、③流動比率については平均値よりは低いものの、前年度同様200%を上回っており、短期的な支払能力には問題はない。

④企業債残高対給水収益比率については、企業債の繰上償還や新たな借入の抑制に努めた結果、平均値を下回ることができている。

⑦施設利用率については、水需要の減少等により平均値を下回っているが、予備力を活用することにより構造物及び管路の更新を進めている。

なお、⑧有収率が100%を上回っているのは、当企業団が責任水量制を採用しており、給水収益の基礎となる分賦基本水量（＝有収水量）が実績給水量を上回っているためである。

### 2. 老朽化の状況について

当企業団は、設立が昭和11年と古いこともあり、①有形固定資産減価償却率が平均より高くなっている。②管路経年化率は計画的に更新を進めることにより今年度も平均より低くなっている。

③管路更新率については、当企業団の管路は口径が大きいものが多いため、更新工事の工期が複数年に渡ることや、更新工事に伴う断水の影響が大きいことから、指標値を一定にすることは困難であるが、施設整備計画を策定し、これに基づき計画的に更新を進めることにより、管路の強靱化に努めている。なお、令和6年度は0%となっているが、これは複数年度に渡る工事の完成を令和7年度以降に計画しているためである。

### 全体総括

経営状況についてはおおむね改善傾向にあるものの、人口減少等により水需要が低下する中で、施設の老朽化や、災害リスク対策等に係る財政需要への対応等が課題となっている。

これらの課題に適切に対応し、今後も安全な水の安定供給を持続していくため、「経営戦略」に掲げる各種施策を推進していくこととしている。